Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

左側のリンクをクリックすると、コンピュータの機能や操作方法についての説明がご覧になれます。お使いのコンピュータに含まれるその他のマニュアルに関しては、「情報の検索方法」を参照してください。

メモ、注意、警告

メモ： コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意： ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告： 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル PP17L

2006 年 11月　 Rev. A01

目次に戻る

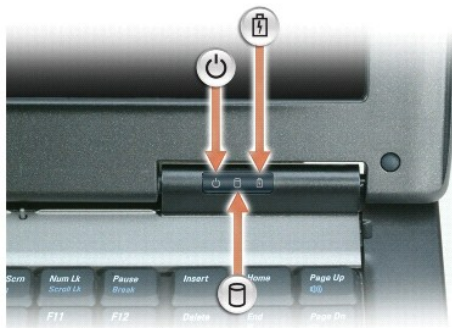
お使いのコンピュータについて

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

正面図

1	ディスプレイ	2	デバイスステータスライト	3	キーボード
4	タッチパッド	5	ディスプレイラッチ	6	スピーカー
7	タッチパッドボタン	8	キーボードステータスライト	9	電源ボタン

ディスプレイ — ディスプレイの詳細に関しては、「ディスプレイの使い方」を参照してください。

デバイスステータスライト

	コンピュータの電源を入れると点灯し、コンピュータがスタンバイモードになっているときには規則的に点滅します。
	コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。 **注意：** データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
	バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは以下のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了。

コンピュータをバッテリーでお使いの場合、 のライトは以下のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

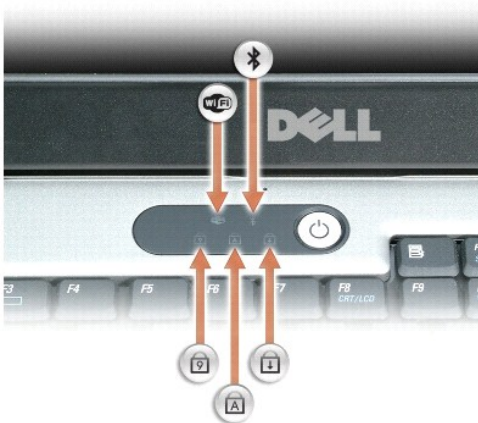
キーボード — キーボードにはテンキーパッドや、Microsoft® Windows® のロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの機能に関しては、「キーの組み合わせ」を参照してください。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使うことができます。詳細に関しては、「タッチパッド」を参照してください。

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておくために使用します。

スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、音量調節のショートカットキーを押します。詳細に関しては、「ボリュームの調整」を参照してください。

タッチパッドボタン — マウスの機能と同じように使うことができます。詳細に関しては、「タッチパッド」を参照してください。

キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

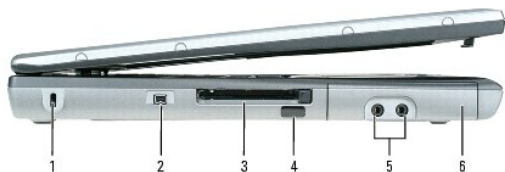
	テンキーパッドが有効になると点灯します。
	ワイヤレスデバイスが有効になると点灯します。
	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
	Bluetooth® ワイヤレステクノロジが有効になっている場合に点灯します。ミニ PCI 機能および Bluetooth ワイヤレステクノロジ、またはその他のワイヤレスデバイスを有効にしたり無効にしたりするには、<Fn><F2> を押します。 **メモ：** Bluetooth ワイヤレステクノロジは、お使いのコンピュータのオプション機能です。コンピュータに

	Bluetooth ワイヤレステクノロジが搭載されている場合にのみ、 アイコンが有効になります。 詳細に関しては、Bluetooth ワイヤレステクノロジに付属のマニュアルを参照してください。
	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

電源ボタン — コンピュータの電源を入れるか、もしくは省電力モード（「省電力モード」を参照）を終了するときに電源ボタンを押します。

注意： データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

左側面図

1	セキュリティケーブルスロット	2	IEEE 1394 コネクタ	3	PC カードスロット /ExpressCard スロット
4	赤外線センサー	5	オーディオコネクタ（2）	6	ハードドライブ

メモ： コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

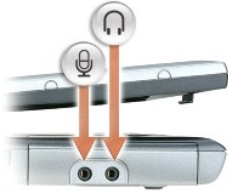
注意： 盗難防止デバイスを購入する前に、セキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。

IEEE 1394 コネクタ — ある種のデジタルビデオカメラのような、IEEE 1394 高速転送レートをサポートするデバイスを接続します。

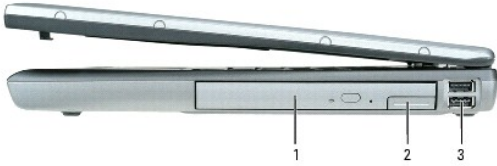
PC カードスロット /ExpressCard スロット — モデムやネットワークアダプタなどの PC カード、またはアダプタ使用の ExpressCard をサポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細に関しては、「PC カードまたは ExpressCard の取り付け」を参照してください。

赤外線センサー — 赤外線センサーは、ケーブルで接続せずにコンピュータから他の赤外線互換デバイスへファイルを転送することができます。

コンピュータがお手元に届いたときは、赤外線センサーは無効になっています。セットアップユーティリティ（「セットアップユーティリティ」を参照）を使って、赤外線センサーを有効にします。データ転送の詳細に関しては、Windows『ヘルプ』、ヘルプとサポートセンターまたは赤外線互換デバイスに付属のマニュアルを参照してください。 ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

オーディオコネクタ

のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。
のコネクタにはマイクを接続します。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

右側面図

1	メディアベイ	2	デバイスリリースラッチ	3	USB コネクタ（2）

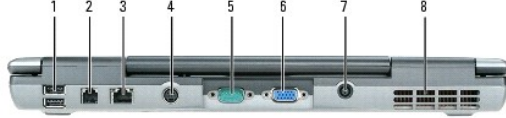
メディアベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスをメディアベイに取り付けることができます。詳細に関しては、「メディアベイ」を参照してください。

デバイスリリースラッチ — メディアベイデバイスを取り外すのに使用します。手順に関しては、「メディアベイ」を参照してください。

USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブケーブルを使って、オプションのフロッピードライブを直接 USB コネクタに接続することもできます。

背面図

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

1	USB コネクタ（2）	2	モデムコネクタ（RJ-11）	3	ネットワークコネクタ（RJ-45）
4	S ビデオ TV 出力コネクタ	5	シリアルコネクタ	6	ビデオコネクタ
7	AC アダプタコネクタ	8	通気孔		

USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブケーブルを使って、オプションのフロッピードライブを直接 USB コネクタに接続することもできます。

モデムコネクタ（RJ-11）

	オプションの内蔵モデムを購入された場合、電話回線をモデムコネクタに接続します。 モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。オンラインユーザーズガイドへのアクセス方法に関しては、「情報の検索方法」を参照してください。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

 注意： ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 つのライトは、有線ネットワーク通信における情報の接続および転送の状況を示します。 ネットワークアダプタの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属しているデバイスのユーザーズガイドを参照してください。「情報の検索方法」を参照してください。

S ビデオ TV 出力コネクタ

	コンピュータを TV に接続します。詳細に関しては、「テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続」を参照してください。

シリアルコネクタ

	マウスまたはハンドヘルドデバイスなどのシリアルデバイスを接続します。

ビデオコネクタ

	外付けモニターを接続します。詳細に関しては、「ディスプレイの使い方」を参照してください。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

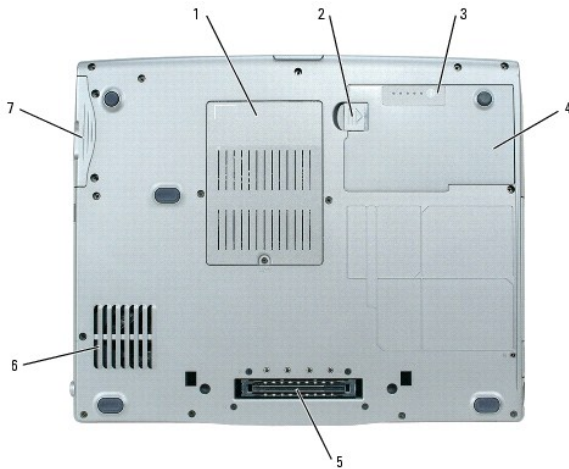
警告: AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意： AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

メモ: コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

底面図

1	メモリモジュールカバー / モデムカバー /WLAN ミニカードカバー / コイン型電池カバー	2	バッテリーベイリリースラッチ	3	バッテリー充電ゲージ
4	バッテリー	5	ドッキングデバイススロット	6	通気孔
7	ハードドライブ				

メモリモジュールカバー / モデムカバー /WLAN ミニカードカバー / コイン型電池のカバー — 1 つのメモリモジュール、モデム、WLANミニカード、およびコイン型電池を収容する実装部のカバーです。追加情報に関しては、「部品の増設および交換」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを取り外すのに使用します。手順に関しては、「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。詳細に関しては、「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。詳細に関しては、「バッテリーの使い方」を参照してください。

ドッキングデバイススロット — ドッキングデバイスをお使いのコンピュータに取り付けます。詳細に関しては、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意： お使いのコンピュータは、スタンバイモードに入らずにコンピュータをアンドックできる Undock & Go™ テクノロジを使用しています。コンピュータが、アンドックされるときに自動的にはスタンバイモードにならない場合があるので、**電源オプション** コントロールパネルの設定で、コンピュータがスタンバイモードに入ることを禁止していないか確認してください。**電源オプション** コントロールパネルを変更して、コンピュータがスタンバイモードに入ることを禁止すると、バッテリーがすぐに消耗したり、コンピュータがオーバーヒートする可能性が大幅に増します。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

メモ: コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告: 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

目次に戻る

[目次に戻る]

付録

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

コンピュータのクリーニング

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびディスプレイ

警告：コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータをコンセントから抜いて、取り付けてあるバッテリーをすべて外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- キーボードのキーの間の埃をクリーニングするには、圧縮空気の缶スプレーを使用します。

注意： コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。

- 水、またはディスプレイ用クリーナーで湿らせた柔らかく、糸くずの出ない布でディスプレイをきれいになるまで拭きます。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

タッチパッド

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
3. 取り付けられているバッテリーをすべて取り外します（「バッテリーの交換」を参照）。
4. 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

フロッピードライブ

注意： ドライブヘッドを綿棒でクリーニングしないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットでフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用によって付いたドライブヘッドの汚れを落とすように前処理されたフロッピーが入っています。

CD および DVD

注意： CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

1. ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。

注意： 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

2. 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

   頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

FCC の通達（アメリカ合衆国のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオおよびテレビの受信を妨げる電波障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください。

1. 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
2. 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

注意： FCC 規則では、Dell Inc. によって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細については、デルの担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

製品名：	Dell™ Latitude™ D520
モデル番号：	PP17L
会社名：	Dell Inc. Worldwide Regulatory Complianc & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

目次に戻る

目次に戻る

バッテリーの使い方

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

バッテリーの性能

メモ: Dell の保証情報に関しては、『サービス & サポートのご案内』を参照してください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリーを搭載した状態でお使いください。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

メモ: バッテリーはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。最良の結果を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリーの充電ステータスを表示するには、**コントロールパネル**→ **電源オプション** にアクセスし、**電源メーター** タブをクリックします。

メモ: バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。オプションのセカンドバッテリーをメディアベイに取り付けると、動作時間を大幅に長くすることができます。

次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります。

- オプティカルドライブを使用している場合
- ワイヤレスの通信デバイス、PC カード、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- コンピュータを最大パフォーマンスモードで実行している場合（「電源管理の設定」を参照）

メモ: CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます（「バッテリーの充電チェック」を参照）。バッテリーの充電量が少なくなると警告を発するように、電源の管理オプションを設定することもできます（「電源管理の設定」を参照）。

警告: 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、お使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告: バッテリーを家庭用のごみと一緒に廃棄しないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。

警告: バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 60 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリーメーター、Microsoft Windows **電源メーター** ウィンドウと アイコン、

バッテリー充電ゲージと機能ゲージ、およびローバッテリー警告は、バッテリー充電の情報を示します。

Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。バッテリメーターには、お使いのコンピュータのバッテリーのステータス、バッテリー性能、充電レベル、および充電完了時間が表示されます。

QuickSet の詳細については、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

Microsoft® Windows® 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。

コンピュータがコンセントに接続されている場合 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを押す、または押し続けると、次のことが確認できます。

- バッテリーの充電量（ステータスボタンを短く押して確認します）
- バッテリー性能（ステータスボタンを押し続けて確認します）

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーの充電機能またはバッテリー機能は次第に低下します。つまり、バッテリーに「充電済み」のステータスが表示されても、充電容量（性能）は低下したままの場合があります。

バッテリーの充電チェック

バッテリーの充電をチェックするには、バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを短く押して、充電レベルライトを点灯させます。 各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 %を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 %なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

バッテリー性能のチェック

メモ： バッテリー性能は、下記に示すように、バッテリーの充電ゲージを使用するか、Dell QuickSet のバッテリメーターを使用してチェックすることができます。QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックし、**ヘルプ** をクリックします。

バッテリー充電ゲージを使ってバッテリー性能をチェックするには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押し続けます。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 %以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 %以下になっていますので、バッテリーを交換することをお勧めします。バッテリーの動作時間の詳細に関しては、「仕様」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意： データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

デフォルトでは、ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 90 %を消費した時点で発せられます。バッテリーアラームの設定は、QuickSet または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウで変更できます。QuickSet または **電源オプションのプロパティ** ウィンドウへのアクセス方法に関しては、「電源管理の設定」を参照してください。

バッテリー電源の節約

バッテリー電源を節約するには次の手順を実行してください。

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください（「省電力モード」を参照）。
- 電源の管理ウィザードを使用してコンピュータの電力消費を最適化するオプションを選択してください。これらのオプションは、電源ボタンを押す、画面を閉じる、または <Fn><Esc> を押すなどしたときに変更されるように設定することもできます。

メモ： 省電力の詳細に関しては、「省電力モード」を参照してください。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおくと（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意： スタンバイモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート**→ **シャットダウン**→ **スタンバイ** とクリックします。

または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電源の管理ウィザードで電源の管理オプションをどのように設定したかによって、次のいずれかの方法が使用されます。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードから通常の動作状態に戻るには、電源の管理オプションの設定に応じて電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

注意： お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードを起動するには、以下の手順を実行します。

- **スタート**→ ボタンをクリックし、<Shift> を押したまま **コンピュータの電源を切る** をクリックし、**休止状態** をクリックします。

  または

- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウまたは QuickSet 電源の管理ウィザードで電源の管理オプションをどのように設定しているかによって、次のいずれかの方法で休止状態モードに入ります。
  - 電源ボタンを押します。
  - ディスプレイを閉じます。
  - <Fn><Esc> を押します。

メモ： PC カードまたは ExpressCard によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを取り外して付けなおす（「PC カードまたは ExpressCard の取り付け」を参照）か、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源管理の設定

QuickSet 電力の管理ウィザードまたは Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。

- QuickSet 電源の管理ウィザードにアクセスするには、タスクバーにある アイコンをダブルクリックします。QuickSet の詳細に関しては、電源の管理ウィザードの **ヘルプ** ボタンをクリックしてください。
- **電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、**スタート** ボタン→ **コントロールパネル**→ **パフォーマンスとメンテナンス**→ **電源オプション** とクリックします。電源オプションのプロパティウィンドウにあるフィールドの情報に関しては、タイトルバーにある疑問符アイコンをクリックし、情報を必要とするエリアをクリックします。

バッテリーの充電

メモ： Dell™ ExpressCharge™ を使用して、完全に切れてしまったバッテリーを充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で 80 %の充電に約 1 時間、100 %の充電に約 2 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路で、バッテリーの過剰充電が防止されます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題解決の詳細に関しては、「電源の問題」を参照してください。

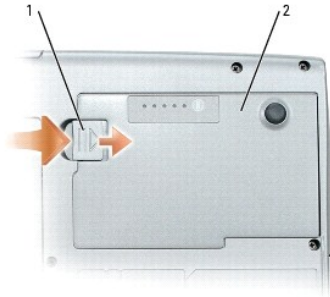
バッテリーの交換

警告：この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタを電源コンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリーは、お使いの Dell ™ コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

注意：起こり得るコネクタの損傷を回避するために、すべての外部ケーブルをコンピュータから取り外す必要があります。メディアベイにあるセカンドバッテリーの交換に関する詳細は、「マルチメディアの使い方」を参照してください。

バッテリーを取り外すには次の手順を実行します。

1. コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
2. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
3. カチッという感触が得られるまで、コンピュータ底部のバッテリーベイリリースラッチをスライドさせます。
4. バッテリーのタブを使って、コンピュータからバッテリーを取り外します。

1	バッテリーベイリリースラッチ	2	バッテリー

バッテリーを交換する場合、バッテリーをベイに置き、バッテリーベイリリースラッチ部でカチッという感触が得られるまで押し下げます。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してからお使いください（「バッテリーの充電」を参照）。

目次に戻る

目次に戻る

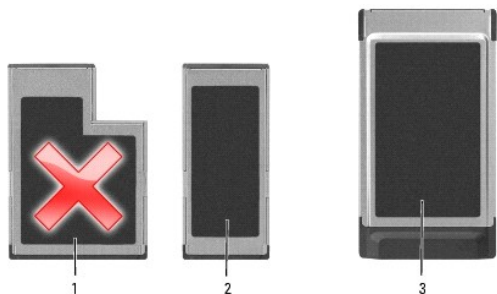
カードの使い方

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

カードのタイプ

サポートされている PC カードに関しては、「仕様」を参照してください。

 メモ: PC カードは、起動デバイスではありません。

PC カード /ExpressCard スロットには、タイプ I またはタイプ II のカード 1 枚および 34 mm ExpressCard 用のアダプタをサポートするコネクタがあります。PC カード /ExpressCard スロットは、カードバステクノロジおよび拡張 PC カードをサポートします。PC カードの「タイプ」とは厚みによる分類で、機能とは関係ありません。

1	54 mm ExpressCard（お使いのコンピュータではサポート対象外）	2	34 mm ExpressCard（アダプタ付きでサポート）	3	PC カード（お使いのコンピュータでサポート）

ダミーカード

お使いのコンピュータには、カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットにカードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。ダミーカードの取り外しに関しては、「PC カードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。

拡張カード

拡張カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は標準のカードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
- コンピュータをキャリーケースに入れる前に、必ず拡張カードを取り外してください。

PC カードまたは ExpressCard の取り付け

PC カードまたは 34 mm ExpressCard（アダプタ付き）は、コンピュータが稼働中でも取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

カードには通常、スロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

⚠ **警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

PC カード

1. カード上面を上にして、挿入方向を示す印がスロットを指すようにカードを持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。

2. PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

コンピュータはほとんどのカードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

ExpressCard

メモ: お使いのコンピュータでは、アダプタ付きの 34 mm ExpressCard のみをサポートします。54 mm ExpressCard はサポートしません。

1. 34 mm ExpressCard をアダプタに挿入し、カードの上部を上にして、カードに描かれた方向記号を PC カード/ExpressCard スロットに向けて持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。

2. カードコネクタにアダプタが完全に収まるまで、アダプタをカードスロットにスライドさせます。

   アダプタがきちんと入らないときは、無理にアダプタを押し込まないでください。ExpressCard とアダプタの向きを確認してから、やりなおします。

コンピュータはほとんどのカードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

カードまたはダミーカードの取り外し

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

注意: タスクバーにある アイコンをクリックしてカードを選択し、カードの動作を停止してからコンピュータから取り外します。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っぱってカードを取り外さないでください。

ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

目次に戻る

[目次に戻る]

ディスプレイの使い方

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

輝度の調整

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

メモ： 輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータに取り付けられているモニターまたはプロジェクタには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとすると、輝度メーターは表示されますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます。

- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

画面モードの操作

外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

画面解像度とリフレッシュレートの設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、グラフィックスカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

メモ： 現在の設定から画面解像度を変更すると、画像がぼやけたり、テキストが読みづらくなったりする恐れがあります。画面設定を変更する前に、後で参照できるように現在の設定を控えておいてください。

デフォルトの画面設定を変更する前に、後で参照できるようその設定を控えておいてください。

メモ： プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **画面**→ **設定** をクリックします。
2. **画面の色** と **画面の解像度** で、別の設定にしてみます。

メモ： 解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、画面全体を 1 度に表示できません。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドを使用して上下左右に動かします。

注意： 外付けモニターでサポートされていないリフレッシュレートを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

デュアルディスプレイモード

外付けモニターやプロジェクタをコンピュータに取り付けたり、お使いのディスプレイの拡張として使用できます（「デュアルディスプレイ」または「拡張デスクトップ」モードとも呼ばれます）。このモードでは、両方の画面を独立して使用することができ、1 つの画面からもう一方の画面へオブジェクトをドラッグできます。視覚作業スペースが事実上二倍になります。

1. 外付けモニター、TV、またはプロジェクタをコンピュータに接続します。
2. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **画面**→ **設定** をクリックします。

メモ: 画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされている設定に最も近いものに自動的に調整されます。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

3. モニタ 2 アイコン→ **Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする**→ **適用** とクリックします。
4. 両方の画面の **画像の解像度** を適切なサイズに変更して、**適用** をクリックします。
5. コンピュータを再起動するよう求められたら、**再起動せずに新しい表示設定を適用する**→ **OK** とクリックします。
6. 必要に応じて、**OK** をクリックし、デスクトップのサイズを変更します。
7. 必要に応じて、**はい** をクリックし、設定を保存します。
8. **OK** をクリックして、 **画面のプロパティ** ウィンドウを閉じます。

デュアルディスプレイモードを無効にするには、以下の手順を実行します。

1. **画面のプロパティ** ウィンドウの **設定** をクリックします。
2. モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** オプションのチェックを外して **適用** をクリックします。

必要に応じて <Fn><F8> を押し、コンピュータを元の画面に戻します。

プライマリディスプレイおよびセカンダリディスプレイの交換

プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの指定を入れ替えるには（たとえば、外付けモニターをドッキングした後にプライマリディスプレイとして使用する場合）、以下の手順を実行します。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **画面**→ **設定**→ **詳細設定**→ **モニタ** とクリックします。

   詳細に関しては、お使いのビデオカードに付属のマニュアルを参照してください。

目次に戻る

目次に戻る

情報の検索方法

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

メモ： 一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ： 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
・コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム ・コンピュータのドライバ ・デバイスのマニュアル ・ノートブックシステムソフトウェア（NSS）	**Drivers and Utilities CD（ResourceCD とも呼ばれます）** マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。CD を使用して、ドライバを再インストールしたり（「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行したり（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）、マニュアルにアクセスすることができます。 CD 内に Readme ファイルが含まれている場合があります。この Readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。 **メモ：** ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、**support.jp.dell.com** で入手できます。 **メモ：**『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。
・コンピュータのセットアップ方法 ・基本的なトラブルシューティングの情報 ・Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行方法 ・部品の取り外しおよび取り付け方法	**クイックリファレンスガイド** **メモ：** このドキュメントはオプションなので、出荷時にお使いのコンピュータに必ずしも付属しているわけではありません。 **メモ：** このマニュアルは、PDF 形式のものをウェブサイト（**support.jp.dell.com**）でご覧いただけます。
・安全にお使いいただくための注意 ・認可機関の情報 ・快適な使い方 ・エンドユーザーライセンス契約	**Dell™ 製品情報ガイド**

- 部品の取り外しおよび取り付け方法 - 仕様 - システムの設定方法 - トラブルシューティングおよび問題解決の方法	**ユーザーズガイド** Microsoft Windows XP ヘルプとサポートセンター 1. **スタート**→ **ヘルプとサポート**→ **Dell ユーザーガイドおよびシステムガイド**→ **システムガイド** とクリックします。 2. オンラインマニュアルのリストから、お使いのコンピュータの『ユーザーズガイド』をクリックします。
- サービスタグおよびエクスプレスサービスコード - Microsoft Windows ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンス** これらのラベルはお使いのコンピュータに貼られています。 - サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 - エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。
- 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A - サービスと保証 — 問い合わせ先、サービスのお問い合わせ、保証、および修理に関する情報 - サービスおよびサポート — サービス契約 - 参考資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータ設定の詳細、製品仕様、およびホワイトペーパー - ダウンロード — 承認ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート - ノートブックシステムソフトウェア（NSS）— お使いのコンピュータでオペレーティングシステムを再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel®プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。NSS はお使いの Dell コンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。	**デルサポートウェブサイトー support.jp.dell.com** **メモ：** お住まいの地域または業務部門を選択して、適切なサポートサイトを表示します。 ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。 **メモ：** **support.jp.dell.com** のユーザーインタフェースは、選択の仕方によって異なる場合があります。
- ソフトウェアのアップグレードとトラブルシューティングのヒント - よくあるお問い合わせ（FAQ）、最新トピック、およびお使いのコンピュータ環境の一般的な状態	**デルサポートユーティリティ** デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。デルサポートユーティリティには、タスクバーの アイコンからアクセスします。詳細に関しては、「デルサポートユーティリティ」を参照してください。
- Windows XP の基本情報 - プログラムとファイルの操作方法 - デスクトップのカスタマイズ方法	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1. **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2. 問題に関連する用語やフレーズを検索ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3. 問題に関連するトピックをクリックします。 4. 画面の指示に従います。

	Dell QuickSet ヘルプ Dell QuickSet のヘルプを表示するには、Microsoft® Windows® タスクバーにある アイコンを右クリックします。 Dell QuickSet の詳細に関しては、「Dell™ QuickSet」を参照してください。
・ オペレーティングシステムの再インストール方法	**オペレーティングシステム CD** **メモ:** 『オペレーティングシステム CD』はオプションなので、出荷時にお使いのコンピュータに必ずしも付属しているわけではありません。 オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。『オペレーティングシステム CD』は、オペレーティングシステムを再インストールする場合に使用します。「オペレーティングシステムの復元」を参照してください。 オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities CD 』(『ResourceCD』とも呼ばれます)を使用してコンピュータに同梱のデバイスのドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムの Product Key(プロダクトキー)ラベルは、コンピュータに貼付されています。 **メモ:** 注文されたオペレーティングシステムによって、CD の色が違います。

目次に戻る

目次に戻る

用語集

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current（交流）— コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルコンセントに差し込むと流れる電流の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

ALS — Ambient Light Sensor（環境証明センサー）の略です。

APR — advanced port replicator（アドバンスポートリプリケータ）ノートブックコンピュータで外付けのモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスが使えるようになるドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — 管理コンソールにハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system（基本入出力システム）— コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェースの役割をするプログラム（またはユーティリティ）です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ — 短距離（9 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する単位です。

BTU — British thermal unit（英国熱量単位）— 熱量の単位です。

C

C — セルシウス（摂氏）— 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD — compact disc — 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — CD から光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW / DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書）— お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数文字のコードです。Product Key（プロダクトキー）や Product ID（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM）— メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM）— データのバーストサイクルを二倍にする SDRAM の一種です。システム性能が向上します。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM）— 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線）— アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD — digital versatile disc — 通常は、映画を録画するために使われる大容量ディスクです。DVD ドライブはほとんどの CD を読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するときに使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD-R — DVD recordable — 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース）— コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。

E

ECC — error checking and correction（エラーチェックおよび訂正）— メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference（電磁波障害）— 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

Energy Star® —Environmental Protection Agency（米国環境保護局）が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge（静電気放電）— 静電気の急速な放電のことです。ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

Fahrenheit — ファーレンハイト（華氏）— 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

FCC — Federal Communications Commission（米国連邦通信委員会）— コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサと RAM 間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol（ファイル転送プロトコル）— インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1,024 MB（ 1,073,741,824 バイト）です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 1 GHz は、1,000,000,000 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ（kHz）、メガヘルツ（MHz）、ギガヘルツ（GHz）、またはテラヘルツ（THz）単位で計測される場合もあります。

I

IC — integrated circuit（集積回路）— コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output（入出力）— コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際標準を作成する組織です。

IRQ — interrupt request（割り込み要求）— デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできますが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider — ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は 1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 周波数の単位です。1 kHz は 1,000 Hz です。

L

LAN — local area network — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

LCD — liquid crystal display（液晶ディスプレイ）— ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode（発光ダイオード）— コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続のためのポートです。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。または 1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory（不揮発性ランダムアクセスメモリ）— コンピュータの電源が切れたり、外部電源が停止したりした場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

O

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/sec ～ 4 GB/sec の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIN — personal identification number（個人識別番号）— コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test（電源投入時の自己テスト）— BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

PXE — pre-boot execution environment — WfM（Wired for Management）標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference（無線電波障害）— 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込んだりできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ — コンピュータ底部の強化された部分のことで、ハードディスクドライブを保護します。コンピュータが衝撃で共振したり落下した場合（コンピュータの電源がオンかオフかにかかわらず）、衝撃を吸収するデバイスとして動作します。

SIM — Subscriber Identity Module の略です。SIM カードには、音声とデータ伝送を暗号化するマイクロチップが搭載されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスを Windows のプログラムで使用できるようにするインタフェースです。

U

UMA — unified memory allocation（統合メモリ振り分け）— ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply（無停電電源装置）— 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair（シールドなしツイストペア）— ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

WHr — ワット時 — おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 WHr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

WLAN — ワイヤレスローカルエリアネットワーク（ワイヤレス LAN）（Wireless Local Area Network）の略です。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。

WLAN — ワイヤレスワイドエリアネットワーク（Wireless Wide Area Network）の略です。モバイルブロードバンドネットワークを参照してください。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — デルコンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD、または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタに印刷される、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合いです。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けたときに PC カードスロットからカードの端がはみ出しています。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

カルネ — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

キーの組み合わせ — 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。 ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。 ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または『Resource CD』が起動 CD です。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュです。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付け、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュです。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

グラフィックスモード — x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するためのユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（翌ネどの原因で）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 ％以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの **support.jp.dell.com** にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

システムトレイ — 通知領域を参照してください。

シャットダウン — ウィンドウを閉じてプログラムを終了し、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイルフォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スキャンディスク — ファイルフォルダ、およびハードディスクの表面にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft のユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節約する省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

赤外線センサー — ケーブル接続しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するのに使うプログラムです。**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティでは、日時やシステムパスワードのように、BIOS でユーザーが選択可能なオプションを設定できます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通知領域 — Windows のタスクバーにあり、プログラムや、時計、音量調節、プリンタの状態といったコンピュータの機能にすばやくアクセスするためのアイコンを含んでいます。システムトレイとも呼ばれます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成、および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルモニタとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、メディアベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — APR を参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、NIC（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、DVD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブ上のデータファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータが AC アダプタおよびコンセントに接続されていないときに、コンピュータを動作させるために使われる、充電可能な内蔵の電源です。

バッテリー動作時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供するビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、x 水平ピクセル数 × y 垂直ピクセル数 × z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、x 列 × y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル— ディスプレイ画面の構成単位である点です。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 × 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整頓したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

フロッピー — 電磁気式のストレージメディアです。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムは、オペレーティングシステムの実行を必要とします。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、CPU（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ヘルプファイル— 製品の説明や各種手順を示したファイルです。ヘルプファイルの中には、Microsoft Word の『ヘルプ』のように特定のプログラムに適用されるものがあります。 他に、単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、**.hlp** または **.chm** です。

ま

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かし、画面上のカーソルやポインタを移動します。

メディアベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール— システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E-メールの交換に使用されます。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

モバイルブロードバンドネットワーク — 携帯電話テクノロジを使用し、地理的に WLAN よりはるかに広いエリアを適用範囲とするワイヤレス高速データネットワークです。WWAN とも呼ばれます。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除できないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み保護にしている場合
- ネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限を特定の個人だけに許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（または垂直周波数）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

目次に戻る

目次に戻る

困ったときは

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

サポートを受けるには

警告：コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。

1. 「トラブルシューティング」の手順を実行します。
2. Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。
3. 「Diagnostics（診断）チェックリスト」を印刷して、それに記入します。
4. インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポート（**support.jp.dell.com**）から、広範囲をカバーするオンラインサービスを利用してください。
5. これまでの手順で問題が解決されない場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ： デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

サポートサービスの使い方に関しては、「サポートサービス」を参照してください。

オンラインサービス

デルサポートへは、**support.jp.dell.com** でアクセスすることができます。**サポートサイトへようこそ** のページから、サポートツール、情報などをお選びください。

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- ワールドワイドウェブ（WWW）

  www.dell.com/

  www.dell.com/ap/（アジア / 太平洋諸国）

  www.dell.com/jp（日本）

  www.euro.dell.com（ヨーロッパ）

  www.dell.com/la/（ラテンアメリカ諸国）

  www.dell.ca（カナダ）

- サポートウェブサイト

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  apsupport@dell.com（アジア太平洋地域）

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパ）

24 時間納期案内電話サービス

注文した Dell™ 製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、または、24 時間納期案内電話サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。

サポートサービス

デル製品に関するお問い合わせは、デルのサポートサービスをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルのサポートサービスにお問い合わせになる場合、まず「サポートを受けるには」を参照してから、「デルへのお問い合わせ」に記載されているお住まいの地域の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。

製品情報

デルが提供しているその他の製品に関する情報が必要な場合や、ご注文になりたい場合は、デルウェブサイト **www.dell.com/jp/** をご覧ください。弊社セールスの電話番号は、お住まいの地域のお問い合わせ番号を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

「こまった」ときの DELL パソコン Q&A をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ: お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがあると、デルで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率良くサポートが受けられます。

必ず Diagnostics（診断）チェックリストに記入してください。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

Diagnostics（診断）チェックリスト
名前:
日付:
住所:
電話番号:
サービスタグ（コンピュータ背面のバーコード）:
エクスプレスサービスコード:
返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）:
オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか？　はい　いいえ
ネットワーク、バージョン、およびネットワークアダプタ:
プログラムとバージョン:
システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。
エラーメッセージ、ビープコード、または診断コード:
問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（サポート）
- **premiersupport.dell.com**（教育機関、行政機関、医療機関、および中企業/大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート）

デルへお問い合わせになる場合、次の表の E-メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（都市） **国際電話アクセスコード** **国番号** **市外局番**	**部署名またはサービス地域、** **ウェブサイトおよび E-メールアドレス**	**市内番号** **フリーダイヤル**
日本（川崎） 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**81** 市外局番：**44**	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
	Technical Support (XPS)	フリーコール：0120-937-786
	日本以外の国でのテクニカルサポート (XPS)	044-520-1235
	XPS 向けカスタマーケア (輸送中に注文した部品が欠品または損傷していた場合)	044-556-4240
	テクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	フリーコール：0120-198-226
	日本国外のテクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
	テクニカルサポート（Dell Precision、OptiPlex、および Latitude）	フリーコール：0120-198-433
	テクニカルサポート（海外から）（Dell Precision、OptiPlex、および Latitude）	81-44-556-3894
	テクニカルサポート (Dell ™、Dell PowerEdge™、Dell PowerConnect™、およびDell PowerVault™)	フリーコール：0120-198-498
	日本以外の国でのテクニカルサポート (PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、およびPowerVault)	81-44-556-4162
	テクニカルサポート (プロジェクター、PDA、プリンタ、ルーター)	フリーコール：0120-981-690
	日本以外の国でのテクニカルサポート (プロジェクター、PDA、プリンタ、ルーター)	81-44-556-3468
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24時間自動注文ステータスサービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

目次に戻る

[目次に戻る]

キーボードおよびタッチパッドの使い方

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

テンキーパッド

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、<Fn> を押したまま、ご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 が点灯して、キーパッドが有効になっていることが示されます。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。

バッテリー

<Fn><F3>	Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。

CD または DVD トレイ

<Fn><F10>	トレイをドライブから取り出します（Dell QuickSet がインストールされている場合）。

ディスプレイ関連

<Fn><F8>	画面モードの表示を次の画面オプションに切り替えます。このオプションには、内蔵ディスプレイ、外付けモニター、内蔵ディスプレイと外付けモニターの両方が含まれています。
<Fn> および上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
<Fn> および下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

スピーカー関連

<Fn><PageUp>	スピーカーの音量を上げます。
<Fn><PageDn>	スピーカーの音量を下げます。
<Fn><End>	スピーカーの音を消します。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth® ワイヤレステクノロジを含む）

<Fn><F2>	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth ワイヤレステクノロジを含む、無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます（「電源管理の設定」を参照）。
<Fn><F1>	コンピュータを休止状態モードにします。Dell QuickSet が必要です（「Dell™ QuickSet」を参照）。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

Windows ロゴキーと <m>	すべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ロゴキーと <m> キーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして機能します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラが開きます。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイル名を指定して実行** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーおよび <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスしてください（「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照）。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

1	タッチパッド	2	タッチパッドボタン

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。
- オブジェクトを選択するには、選択したいオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。

- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパットボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり設定を調整したりすることができます。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **マウス** とクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。
2. **マウスのプロパティ** ウィンドウで、以下の手順を実行します。
   - **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドを無効にします。
   - **ポインタ** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調節します。
3. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

目次に戻る

[目次に戻る]

マルチメディアの使い方

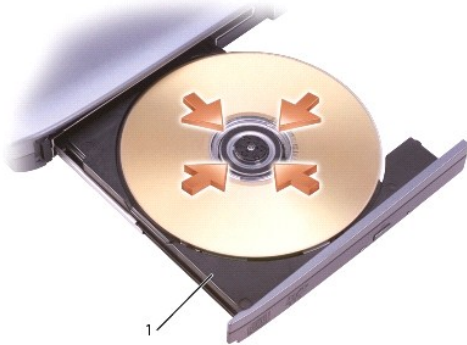
Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

CD または DVD の再生

注意： CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。

注意： CD または DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。

1. ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。

2. トレイを引き出します。

1	CD/DVD トレイ

3. トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。

メモ： 別のコンピュータに付属している CD/DVD ドライブをお使いの場合、CD または DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください（『Drivers and Utilities CD』はオプションであり、お使いのコンピュータや国によって利用できない場合があります）。

4. トレイをドライブに押し戻します。

データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

メモ： CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

ボリュームの調整

メモ： スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **エンターテイメント**（または **マルチメディア**）とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。

2. **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールのオプションの詳細に関しては、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある アイコンをクリックして、**Disable On Screen Volume Meter**（画面上の音量メーターを無効にする）をオンまたはオフにするか、ボリュームコントロールボタンを押して画面上の音量メーターを有効または無効にします。

音量メーターが有効の場合、音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーの組み合わせを押します。

- 音量を上げるには、<Fn><PageUp> を押します。
- 音量を下げるには、<Fn><PageDn> を押します。
- 音量をミュートするには、<Fn><End> を押します。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックしてください。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
4. **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックアンドドラッグして、画面の解像度を下げます。
5. **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中（16 ビット）**をクリックします。
6. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

CD および DVD のコピー

メモ: CD または DVD を作成する際は、すべての著作権法に基付いていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD（コンボ）ドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

メモ: デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD の正確なコピーを作成する方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも Sonic DigitalMedia を使用することができます。ヘルプを参照するには、Sonic DigitalMedia を開き、ウィンドウの右上にある疑問符（?）のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

メモ: CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト **www.sonic.com** で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW および DVD+R DL（デュアルレイヤ）メディアに対して読取りと書込みを行いますが、DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書込みは行わず、読取りも行わない可能性があります。

メモ: 市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Sonic DigitalMedia を使用してコピーすることはできません。

1. **スタート** ボタンをクリックして **すべてのプログラム**→ **Sonic**→ **DigitalMedia Projects**（DigitalMedia プロジェクト）とポイントし、**Copy**（コピー）をクリックします。
2. **Copy**（コピー）タブで **Disc Copy**（ディスクコピー）をクリックします。
3. CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。
   - CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**Disc Copy**（ディスクコピー）ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。

     プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。
   - CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**Disc Copy**（ディスクコピー）ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

   ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

DVD 書き込み可能ドライブは、CD 記録メディアと DVD 記録メディアの両方に書き込むことができますが、CD-RW ドライブは CD 記録メディアのみ（高速 CD-RW を含む）に書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

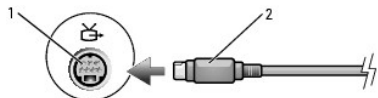
メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

便利なヒント

- Sonic DegitalMedia を開始して DigitalMedia プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW ディスクにドラッグ＆ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic DigitalMedia を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1〜2 MB を必要とします。
- CD の記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト **sonicjapan.co.jp** を参照してください。

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

メモ： お使いのコンピュータを、TV またはその他のオーディオデバイスに接続するビデオケーブルおよびオーディオケーブルは、コンピュータには同梱されておらず、特定の国で入手できない場合もあります。お客様の国で入手できる場合、ケーブルはほとんどの家庭用電化製品店からご購入いただけます。

お使いのコンピュータには、標準 S ビデオケーブル（同梱されていません）と共に使用して、コンピュータをテレビに接続できる S ビデオ TV 出力コネクタがあります。

1	S ビデオ TV 出力コネクタ
2	スタンダード S ビデオケーブルコネクタ

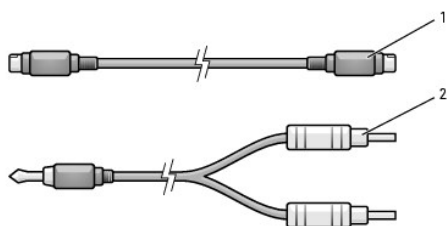
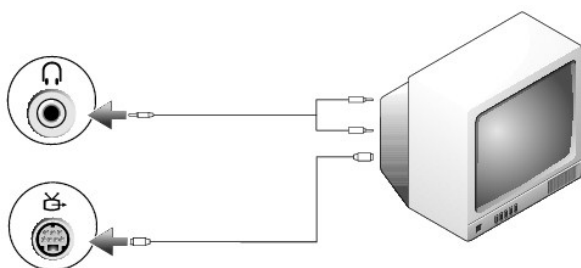
お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタまたはコンポジットビデオ入力コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルを使用してコンピュータをテレビに接続できます。

以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ： どの方法をお使いになるかを決める際の参考として、各サブセクションのはじめにある接続の組み合わせ図を参照してください。

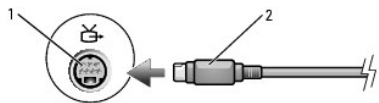
- S ビデオおよび標準オーディオ
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ

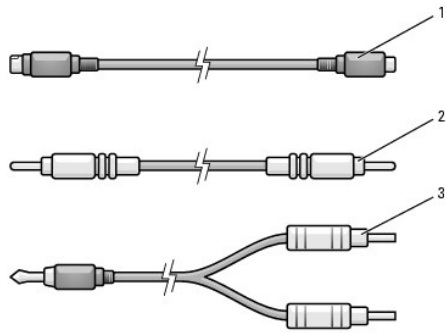
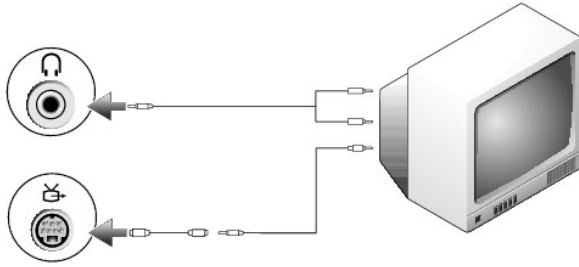
コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータとテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。Microsoft® Windows® XP でテレビの画面設定を有効にする を参照し、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S ビデオおよび標準オーディオ

1	標準 S ビデオケーブル
2	標準オーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

メモ： お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接、コンピュータの S ビデオ出力コネクタに（TV/デジタルオーディオケーブルを使用しないで）接続できます。

2. S ビデオケーブルの一端をコンピュータの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

3. S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
4. コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。
5. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
6. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
7. 「Microsoft® Windows® XP でテレビの表示設定を有効にする」を参照し、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ

1	標準 S ビデオ→コンポジットビデオアダプタ
2	コンポジットビデオケーブル
3	標準オーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. 標準ビデオ→コンポジットビデオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3. コンポジットビデオケーブルの片方の端を、標準ビデオ→コンポジットビデオアダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに接続します。

4. コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
5. コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。
6. もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7. テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8. 「Microsoft® Windows® XP でテレビの画面設定を有効にする」を参照し、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

Cyberlink（CL）ヘッドフォンのセットアップ

メモ： CL ヘッドフォン機能は、お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合にのみ有効です。

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用にデジタルオーディオを有効にすることができます。

1. **スタート→ プログラム→ PowerDVD** とクリックし、**Cyberlink PowerDVD** プログラムを起動します。
2. DVD を DVD ドライブに挿入します。

   DVD の再生が始まったら、停止ボタンをクリックします。

3. **設定** オプションをクリックします。

4. **ムービー** オプションをクリックします。

5. **音声設定** アイコンをクリックします。

6. **スピーカ設定** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**Headphones**（ヘッドフォン）オプションを選択します。

7. **サラウンド** 設定をクリックしてオプションをスクロールし、**CL Headphone**（CL ヘッドフォン）オプションをクリックします。

8. **サウンド環境設定** オプションの横にある矢印をクリックし、最適なオプションを選択します。

9. **戻る** ボタンを一度クリックし、もう一度 **戻る** ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

Microsoft® Windows® XP でテレビの画面設定を有効にする

メモ: 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。

2. **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。

3. **コントロールパネルを選んで実行します** にある **画面** をクリックします。

4. **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。

5. **Intel® Extreme Graphics** タブをクリックします。

6. **グラフィックのプロパティ** をクリックします。

7. コンピュータのディスプレイおよびその他のディスプレイのオプションを一切使わずに TV だけを使いたい場合は、次の操作を行います。
   a. 新しいウィンドウで **TV** をクリックし、テレビアイコンの上に赤いチェックマークを付けます。
   b. 設定が正しいことを確認します。

8. TV とコンピュータのディスプレイを同時に使いたい場合は、次の操作を行います。
   a. 新しいウィンドウで **Intel® Dual Display Clone** をクリックして、デバイスのリストにテレビがあることを確認します。
   b. **デバイス設定** をクリックします。
   c. 新規ウィンドウで、画面解像度の設定が適切であることを確認します。

9. **適用** をクリックすると、新しい設定が表示されます。

10. **OK** をクリックして、設定の変更を確定します。

11. **はい**をクリックし、新しい設定を保存します。

12. **OK** をクリックします。

目次に戻る

目次に戻る

ネットワークの設定

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続

コンピュータをワイヤレス以外のネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

1. ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ： ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。

2. ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

メモ： ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP には家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **通信**→ **ネットワークセットアップウィザード** とクリックします。
2. **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3. **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ： **インターネットに直接接続している** と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2（SP2）で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

4. チェックリストを完了します。
5. ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）

ワイヤレス LAN は、各コンピュータに接続するネットワークケーブルを使用するのではなく、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、ネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものが必要です。

- 高速（ブロードバンド）インターネットアクセス（ケーブルまたは DSL など）
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム

- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード（ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要）
- ネットワーク（RJ-45）コネクタ付きのネットワークケーブル

ワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。次のいずれかを使用して、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べます。

- **スタート** ボタンと **接続** オプション
- コンピュータの注文確認書

スタートボタンと接続オプション

1. **スタート** ボタンをクリックします。
2. **接続** をポイントして、**すべての接続の表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続 が **LAN または高速インターネット** に表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続 が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. **ワイヤレスネットワーク接続** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。**ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ** ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号が **一般** タブに表示されます。

メモ： お使いのコンピュータが **クラシックスタート** メニューオプションに設定されている場合、**スタート** ボタンをクリックして、**設定** をポイントしてから **ネットワーク接続** をポイントすると、ネットワーク接続を表示できます。**ワイヤレスネットワーク接続** が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

コンピュータの注文確認書

コンピュータを注文したときに受け取られた注文確認書には、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが記載されています。

新しいワイヤレス LAN のセットアップ

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムの接続

1. インターネットサービスプロバイダ（ISP）に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。
2. ワイヤレスのインターネット接続の設定を試みる前に、ブロードバンドモデム経由で有線のインターネットアクセスが設定されていることを確認してください（「ネットワークまたはブロードバンドモデムへの物理的な接続」を参照）。
3. お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用の CD が付属している場合があります。このような CD には、通常、インストールとトラブルシューティングの情報が含まれています。製造元の手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。
4. **スタート** メニューから、お使いのコンピュータと、周辺にあるワイヤレスが有効なその他すべてのコンピュータをシャットダウンします。
5. ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。
6. ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。

メモ： ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。

7. AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに接続された電源がないことを確認します。
8. ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。
9. ネットワークケーブルのもう一方の端を電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク（RJ-45）コネクタに接続します。
10. モデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。

メモ： 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。

11. ブロードバンドモデムにのみ電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 12 に進みます。

12. ワイヤレスルーターの電源を入れて、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 13 に進みます。

13. コンピュータを起動し、起動処理が完了するまで待ちます。

14. ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照し、次の操作を実行して、ワイヤレスルーターをセットアップします。
    - コンピュータとワイヤレスルーター間の通信を確立します。
    - ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。
    - ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier（SSID）またはネットワーク名です。

15. 必要に応じて、ワイヤレスネットワークに接続するようにワイヤレスネットワークカードを設定します（「ワイヤレス LAN への接続」を参照）。

ワイヤレス LAN への接続

メモ： ワイヤレス LAN に接続する前に、必ず「ワイアレス LAN（ローカルエリアネットワーク）」の手順を実行してください。

メモ： 次のネットワークについての説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジによるネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。コンピュータをワイヤレス LAN に接続するための準備に関しては、「ワイヤレス LAN」を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

メモ： ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、「ワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります。

- ワイヤレスネットワークカードの確認ユーティリティ
- Windows XP オペレーティングシステム

ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート**→ **設定**→ **コントロールパネル** とクリックします。

2. **ネットワーク接続** をダブルクリックします。

3. **ワイヤレスネットワーク接続** アイコンを右クリックして、**利用できるワイヤレスネットワークの表示** をクリックします。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウに **Windows cannot configure this connection**（Windows ではこの接続を設定できません）というメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードの設定ユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Click an item in the list below to connect to a wireless network in range or to get more information**（以下のリストのアイテムをクリックして、範囲内にあるワイヤレスネットワークに接続するか、詳細情報を取得します）というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターでお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

1. **スタート** ボタンをクリックして **ヘルプとサポート** をクリックします。

2. **ヘルプトピックを選びます** で **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックします。

3. **デバイスガイド** で、お使いのワイヤレスネットワークカードのマニュアルを選択します。

ワイヤレス LAN への接続の完了

コンピュータの電源を入れたときに、地域内でネットワーク（お使いのコンピュータが設定されていないもの）が検出されると、Windows デスクトップの右下角にあるワイヤレス信号アイコン（ワイヤレスネットワークが検出されたことを知らせます）の近くにポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。

メモ： セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

メモ： コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

ワイヤレスネットワークカードの有効化および無効化

メモ： ワイヤレスネットワークに接続できない場合は、ワイヤレス LAN を設定するためのすべてのコンポーネント（「ワイヤレス LAN 接続に必要なもの」を参照）が揃っていることを確認し、<Fn><F2> を押してお使いのワイヤレスネットワークカードが有効であることを確認します。

コンピュータのワイヤレスネットワーク機能の有効と無効を切り替えるには、<Fn><F2> のキーの組み合わせを使用します。ワイヤレスネットワーク機能が有効である場合に、<Fn><F2> を押すと機能が無効になります。ワイヤレスネットワーク機能が無効である場合に、<Fn><F2> を押すと機能が有効になります。

Dell™ QuickSet を使用したワイヤレスネットワーク接続のステータスのモニタ

ワイヤレスアクティビティインジケータを使用すると、お使いのコンピュータのワイヤレスデバイスのステータスを簡単にモニタできます。ワイヤレスアクティビティインジケータのオンとオフを切り替えるには、タスクバーにある Dell QuickSet アイコンを右クリックして、**Wireless Activity Indicator Off**（ワイヤレスアクティビティインジケータをオフにする）を選択または選択解除します。

ワイヤレスアクティビティインジケータには、お使いのコンピュータに搭載のワイヤレスデバイスが有効または無効のどちらの状態になっているかが示されます。ワイヤレスネットワーク機能をオンまたはオフにすると、ワイヤレスアクティビティインジケータが変化してステータスを表示します。

ワイヤレスアクティビティインジケータの詳細に関しては、『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルを参照してください。QuickSetの概要と『Dell QuickSet ヘルプ』ファイルへのアクセス方法に関しては、「Dell™ QuickSet」を参照してください。

モバイルブロードバンドまたはワイヤレスワイドエリアネットワーク（ワイヤレスWAN）

ワイヤレス LAN と同様に、モバイルブロードバンドネットワーク（ワイヤレス WAN とも呼ばれます）もワイヤレステクノロジを通じて互いに通信する一連の相互接続コンピュータです。ただし、モバイルブロードバンドネットワークでは携帯電話テクノロジを使用するので、携帯電話サービスを使用できる同一エリアのさまざまな場所からインターネットにアクセスできます。お使いのコンピュータは、携帯電話サービスプロバイダのサービスエリアにある限り、物理的な場所とは関係なくモバイルブロードバンドネットワーク接続を維持することができます。

モバイルブロードバンドネットワーク接続に必要なもの

メモ： お使いのコンピュータでは、モバイルブロードバンド（WWAN）接続用にアダプタ付きの 34 mm ExpressCard をサポートしています。WWAN ミニカードはサポートしません。

モバイルブロードバンドネットワーク接続を設定するには、次のものが必要です。

- モバイルブロードバンド ExpressCard

  ExpressCard の使い方については、「ExpressCard」を参照してください。

- Dell Mobile Broadband Card Utility（コンピュータの購入時にカードを購入した場合は、すでにコンピュータにインストールされています。コンピュータとは別に購入した場合は、カードに付属の CD に収録されています。）

  ユーティリティが破壊された、またはコンピュータから削除されている場合は、Dell Mobile Broadband Card Utility のユーザーズガイドを参照してください。ユーザーズガイドは、Windows ヘルプとサポートセンターから入手できます。コンピュータとは別にカードを購入した場合は、カードに付属の CD にも収録されています。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

モバイルブロードバンドネットワークへの接続

メモ： 以下の手順は、モバイルブロードバンド ExpressCard またはミニカードにのみ適応します。Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたはワイヤレス LAN ミニカードには適応しません。

メモ： インターネットに接続する前に、携帯電話サービスプロバイダを通じてモバイルブロードバンドサービスをアクティブにする必要があります。Dell Mobile Broadband Card Utility の使い方と追加情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターで入手できるユーザーズガイドを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でも入手できます。また、モバイルブロードバンドカードをコンピュータとは別に購入した場合には、カードに付属の CD にも収録されています。

次の手順で Dell Mobile Broadband Card Utility を使用して、インターネットへのモバイルブロードバンドネットワーク接続を確立し、管理します

1. Windows タスクバーにある Dell Mobile Broadband Card ユーティリティのアイコン をクリックして、ユーティリティを実行します。
2. **接続** をクリックします。

   メモ： **接続** ボタンが **Disconnect**（切断）ボタンに変わります。

3. 画面上の指示に従い、ユーティリティを使ってネットワーク接続を管理します。

インターネット接続ファイアウォール

インターネット接続ファイアウォールでは、インターネット接続時に、許可されていないユーザーのコンピュータへのアクセスに対する基本的な保護が提供されます。ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの **ネットワーク接続** に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

インターネット接続ファイアウォールを有効にしても、ウイルス対策ソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、Microsoft®Windows®XP オペレーティングシステムのヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

目次に戻る

[目次に戻る]

部品の増設および交換

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」および「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに終えていること。
- Dell™ の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。

警告： 本章に記載されている部品の中には、ユーザーが交換できないものもあります。そのような部品の交換は、資格のあるサービス技術者のみが行うことができます。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS のアップデート（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照）

コンピュータの電源を切る

注意： データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1. オペレーティングシステムをシャットダウンします。
   a. 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了し、**スタート**→ **シャットダウン** とクリックします。
   b. **シャットダウン**→ **OK** を選択します。

   オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。

2. コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしても、コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けてください。

コンピュータ内部の作業をする前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

警告： コンポーネントやカードは慎重に扱ってください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意： デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。

注意： ケーブルを外すときは、コネクタまたはプルタブの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

注意： コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。

2. コンピュータの電源を切ります（「コンピュータの電源を切る」を参照）。

注意： ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に壁のネットワークコネクタから外します。

3. 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。

4. コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。

注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

5. バッテリーをすべて取り外します（「バッテリーの交換」を参照）。

6. 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。

ハードドライブ

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意： データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

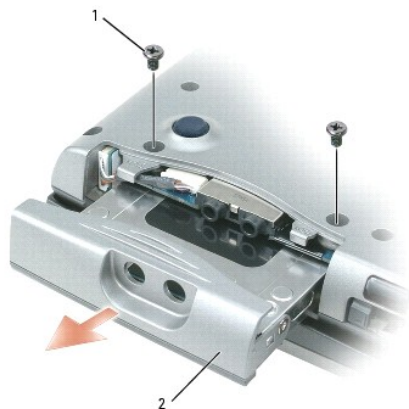
注意： ハードドライブはとても壊れやすく、わずかな衝撃でも破損することがあります。

メモ： デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

メモ： デル製品以外のハードドライブを取り付ける場合は、新規のハードドライブにオペレーティングシステム（「オペレーティングシステムの復元」を参照）とドライバ（「ドライバ」を参照）をインストールする必要があります。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

2. コンピュータを裏返して、シャーシにハードドライブキャリアを固定している 2 本のネジを取り外します。

1	ネジ（2）	2	ハードドライブ

注意： ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

3. ハードドライブキャリアをコンピュータから引き出します。

4. 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。

注意： ドライブを挿入する際は、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

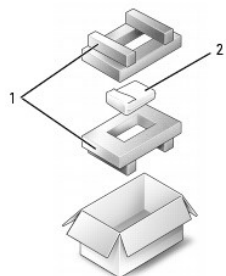
5. 新規のハードドライブを、ベイおよびコネクタに完全に収まるまでスライドさせます。

6. ネジを締めます。

7. お使いのコンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします（「オペレーティングシステムの復元」を参照）。

8. コンピュータのドライバおよびユーティリティをインストールします（「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ハードドライブの返品

ハードドライブをデルに返品する場合は、そのドライブが梱包されていた箱、または同等の発泡スチロール製の梱包材に入れて返送してください。正しく梱包しないと、ハードドライブが運搬中に破損する場合があります。

1	発泡スチロール製の梱包材	2	ハードドライブ

メディアベイ

メモ： デバイス固定ネジが取り付けられていない場合は、コンピュータが動作中でドッキングデバイスに接続されている間でも、デバイスを取り外したり取り付けたりすることができます。

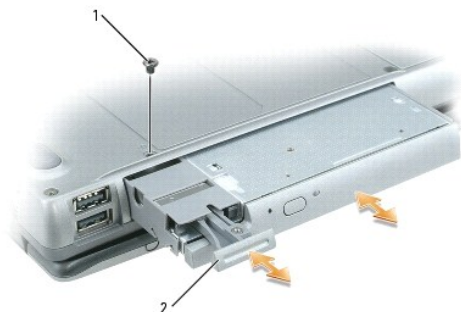
デバイス固定ネジの取り外し

デバイスを取り外す前に、デバイス固定ネジが取り付けられている場合はこれを取り外します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。

2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

3. ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。

4. 細めのプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイス固定ネジを取り外します。

1	デバイス固定ネジ	2	デバイスリリースラッチ

メディアベイデバイスの取り外しと取り付け

メモ: デバイス固定ネジが取り付けられていない場合は、コンピュータが動作中で、ドッキングデバイスに接続されている間でも、デバイスを取り外したり、取り付けたりすることができます。

注意: デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1. コンピュータの底面にデバイス固定ネジが取り付けられている場合は、これを取り外します(「デバイス固定ネジの取り外し」を参照)。

2. コンピュータが実行中である場合は、タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックし、取り出すデバイスをクリックして **停止** をクリックします。

3. デバイスリリースラッチを押します。

4. デバイスをメディアベイから取り出します。

5. 新しいデバイスがベイにカチッと収まるまで押します。

ヒンジカバー

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意: 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面(コンピュータの背面にあるコネクタなど)に触れたりして、静電気を除去します。

注意: ヒンジカバーは壊れやすいので、無理な力を加えると損傷する可能性があります。ヒンジカバーの取り外しには注意してください。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

2. コンピュータの表面を上にして、ディスプレイを約 180 度開き、作業面に対して平らになるようにします。

注意: ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。

3. スクライブをインデントに差し込んで、ヒンジカバーの右側を慎重に持ち上げます。

1	ヒンジカバー	2	くぼみ

4. ヒンジカバーを緩めて持ち上げ、右から左に動かして取り外します。

5. ヒンジカバーを取り付けるには、まず左側をヒンジカバースロットに挿入して左から右に押し、カバーを所定の位置にカチッという感触が持てるまではめ込みます。

キーボード

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意： 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

2. ヒンジカバーを取り外します（「ヒンジカバー」を参照）。

3. キーボードの上部にある 2 つのネジを外します。

注意： キーボード上のキーキャップは壊れたり外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。

4. キーボードを持ち上げて、キーボードのコネクタが見えるまで少し前方にスライドさせます。

5. システム基板上のキーボードコネクタからキーボードケーブルを外すには、キーボードコネクタのプラスチックバーをコンピュータの左方向に回します。

1	キーボード	2	キーボードネジ	3	タブ（5）

4	キーボードケーブル	5	キーボードコネクタのプラスチックバー		

注意： キーボード取り付け中にパームレストの損傷を防ぐため、キーボード前面の端についているタブをパームレストに差し込んでから、キーボードを所定の位置に固定します。

6. キーボードを取り付けるには、キーボードケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。

7. キーボードの前面の端に沿ってあるタブをパームレストに差し込み、キーボードをパームレストの上に下ろします。

8. キーボード上部の 2 本のネジを元どおりに取り付けます。

9. ヒンジカバーを取り付けます。

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ： デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

コンピュータには、「DIMM A」と「DIMM B」という 2 つのメモリモジュールコネクタがあります。DIMM A はキーボードの下のシステム基板上部にあり、DIMM B はメモリモジュールカバーの下のシステム基板底部にあります。取り付けるメモリモジュールが 1 つだけの場合は、工場出荷時の設定どおりに、DIMM A に取り付ける必要があります。増設メモリを購入していない場合は、DIMM B は空のままです。通常、メモリを増設する場合、DIMM B にメモリモジュールを取り付けます。メモリをアップグレードする場合、アップグレードの規模によっては、DIMM A と B の両方にメモリモジュールを取り付ける必要があります。

DIMM A にメモリモジュールを取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

2. ヒンジカバーを取り外します（「ヒンジカバー」を参照）。

3. キーボードを取り外します（「キーボード」を参照）。

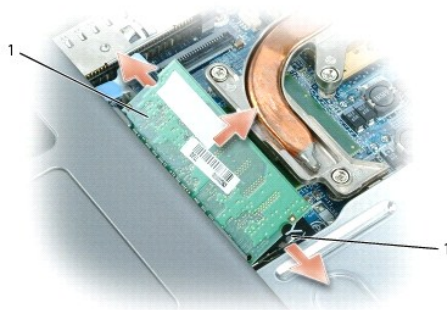
4. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

注意： その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

5. メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを取り外します。

注意： メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

   a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

   b. モジュールをコネクタから取り外します。

1	メモリモジュール	2	固定クリップ（2）

注意： メモリモジュールは、コネクタへの損傷を防ぐために 45 度の角度で差し込んでください。

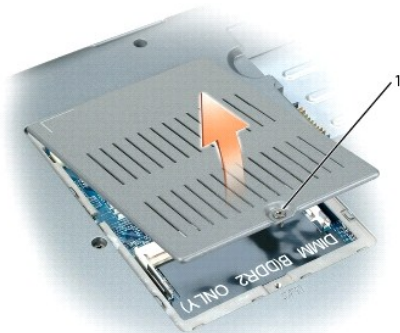
メモ: メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは起動しないことがあります。この場合、エラーメッセージは表示されません。

6. 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
   a. モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットに合わせます。
   b. モジュールを 45 度の角度でスロットに合わせてしっかりと押し込み、カチッと所定の位置に収まるまでモジュールを押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。
7. キーボードを取り付けます（「キーボード」を参照）。
8. ヒンジカバーを取り付けます（「ヒンジカバー」を参照）。
9. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。
10. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** をクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

DIMM B にメモリモジュールを取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。
2. コンピュータを裏返して、メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。

1	拘束ネジ

注意： メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

3. メモリモジュールを交換する場合、既存のモジュールを取り外します。
   a. メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを、モジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
   b. モジュールをコネクタから取り外します。

1	固定クリップ（2）	2	メモリモジュール

注意： メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合は、まず「DIMMA」のラベルが付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルが付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは 45 度の角度で差し込んでください。

メモ: メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは起動しないことがあります。この場合、エラーメッセージは表示されません。

4. 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
   a. モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットに合わせます。
   b. モジュールを 45 度の角度でスロットに合わせてしっかりと押し込み、カチッと所定の位置に収まるまでモジュールを押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。
5. メモリモジュールカバーを取り付け、ネジを締めます。

注意： カバーが閉まりにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

6. バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

7. コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

ワイヤレスカード

お使いのコンピュータと一緒にワイヤレス LAN カードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

ワイヤレスローカルエリアネットワーク（ワイヤレス LAN）カード

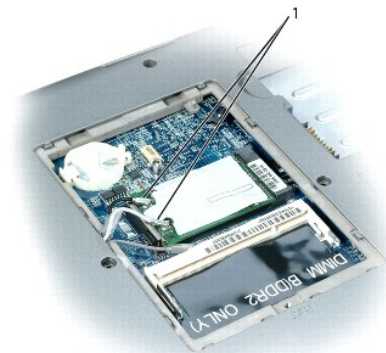
1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

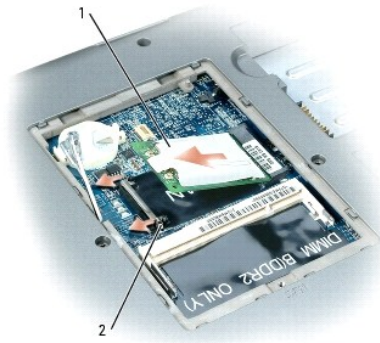
2. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

   メモ： その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

3. まだカードが取り付けられていない場合は、手順 4 に進みます。カードを交換する場合は、既存のカードを取り外します。

   a. アンテナケーブルをカードから外します。

メモ： 所有するミニカードのタイプによって、3 本のアンテナケーブルのうちの 2 本か 3 本が使用されています。

1	アンテナケーブル（2）

   b. カードがわずかに浮き上がるまで、金属製の固定タブをカードから押し離して、カードを取り出します。

1	ワイヤレス LAN カード	2	金属製の固定タブ

c. カードを 45 度の角度でコネクタから引き出します。

注意： コネクタは確実に挿入できるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

メモ： ワイヤレス LAN カードコネクタにモバイルブロードバンド（WWAN）ネットワークカードを挿入しないでください。

メモ： ワイヤレス LAN カードには、注文したカードのタイプによって 2 つまたは 3 つのアンテナコネクタが付いています。

4. カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

注意： ワイヤレス LAN カードの損傷を避けるため、カードの上や下に決してケーブルを置かないでください。

a. ワイヤレス LAN カードのスペースを確保するため、アンテナケーブルを邪魔にならない位置に動かします。
b. カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッという感触が得られるまで、カードをコネクタに押し込みます。

メモ： どのケーブルをどのコネクタに接続するかという具体的な情報に関しては、お使いのワイヤレス LAN カードに付属のマニュアルを参照してください。

5. アンテナケーブルをワイヤレス LAN カードに接続して、ケーブルを正しく配線します。

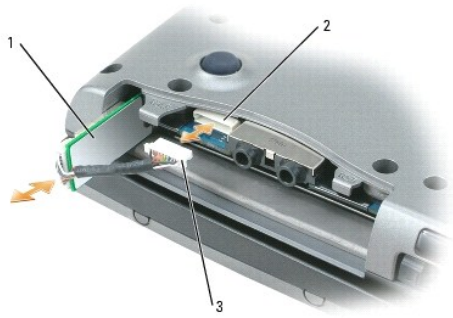
Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カード

警告： 以下の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意をよく読み、指示に従ってください。

注意： 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、コンピュータの背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードを購入された場合は、お使いのコンピュータにすでに取り付けられています。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。
2. ハードドライブを取り外します（「ハードドライブ」を参照）。
3. カードケーブルコネクタをシステム基板コネクタから取り外します。
4. ケーブルを引っ張って、カードをコンピュータから取り外します。

1	カード	2	システム基板コネクタ	3	ケーブルコネクタ

注意： カード、カードケーブル、または周辺コンポーネントの損傷を防ぐため、カードの取り外しは慎重に行ってください。

コイン型電池

警告： 以下の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従ってください。

注意： 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、コンピュータの背面パネルにあるコネクタなどに定期的に触れたりして、静電気を身体から除去してください。

注意： システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1. 「作業を開始する前に」の手順を実行します。

1	コイン型電池

2. プラスチックスクライブをコイン型電池実装部の側面にあるガイドに差し込み、バッテリーを押し上げます。

バッテリーを取り付けるには、クリップの下にプラス側（プラス [+] と表示されています）を上にして、30 度の角度で差し込んでから押し下げて入れます。

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ QuickSet

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

メモ: この機能はお使いのコンピューターで使用できない場合があります。

Dell™ QuickSet を使用すると、次に示すタイプの設定や、その設定の表示を簡単に行うことができます。

- ネットワークの接続性
- 電力の管理
- ディスプレイ
- システム情報

Dell™ QuickSet で実行する内容に応じて、Microsoft® Windows® タスクバーにある QuickSet アイコン をクリック、ダブルクリック、または右クリックして、QuickSet を開始します。タスクバーは画面の右下隅にあります。

QuickSet の詳細に関しては、QuickSet アイコンを右クリックして、**ヘルプ** を選択します。

目次に戻る

目次に戻る

コンピュータのセキュリティ保護

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

メモ： 携帯しているコンピュータのセキュリティを保護する方法に関しては、「ノートブックコンピュータを携帯するときは」を参照してください。

セキュリティケーブルロック

メモ： お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。このロックを使用するには、Dell™ コンピュータのセキュリティケーブルスロットにロックを取り付けます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

注意： 盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。

パスワード

メモ： ご購入時には、パスワードは設定されていません。

プライマリパスワード、システム管理者パスワード、およびハードドライブパスワードはすべて、異なる方法によりコンピュータへの不正アクセスを防止します。以下の表に、お使いのコンピュータで利用可能なパスワードの種類と機能について示します。

パスワードの種類	機能
プライマリおよびシステム	• 使用を認証されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護します。
システム管理者	• コンピュータを修理または再設定するシステム管理者または技術者がアクセスします。 • プライマリパスワードによってコンピュータへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。 • プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。
ハードドライブ	• 使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブまたは外付けハードドライブ（使用している場合）のデータを保護するために使用します。

メモ： ハードドライブによっては、ハードドライブパスワードをサポートしません。

注意： パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるか、またはデルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

プライマリまたはシステムパスワードの使い方

プライマリ（システム）パスワードを使用すると、認証されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護できます。

コントロールパネル から ユーザーアカウント にアクセスして、ユーザーアカウントを作成し、パスワードを追加または変更します。プライマリパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

注意： システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

システム管理者パスワードが設定されている場合は、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。通常、コンピュータ画面でシステム管理者パスワードの入力は必要ありません。

システム管理者パスワードの使い方

システム管理者パスワードは、コンピュータを修理または再設定するシステム管理者またはサービス技術者のためのものです。システム管理者または技術者は、同じシステム管理者パスワードをコンピュータのグループに割り当て、固有のプライマリパスワードを割り当てることができます。

システム管理者パスワードを設定または変更するには、コントロールパネルにある **ユーザーアカウント** にアクセスします。

システム管理者パスワードを設定すると、セットアップユーティリティの **Configure Setup** オプションが有効になります。**Configure Setup** オプションは、プライマリパスワードによってコンピュータへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスが制限できます。

システム管理者パスワードは、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。プライマリパスワードの入力を求められた場合、常にシステム管理者パスワードで代用できます。

注意： システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

メモ： システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、プライマリパスワードを忘れてしまった場合、または両方のパスワードを設定し、どちらも忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ハードドライブパスワードの使い方

ハードドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからハードドライブ上のデータを保護するために使用します。外付けハードドライブをご使用の場合、そのドライブにプライマリハードドライブと同じ、または異なるパスワードを設定することもできます。

ハードドライブパスワードを設定すると、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。また、スタンバイモードから通常の動作に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードドライブパスワードを有効にした場合、コンピュータを起動するたびにハードドライブパスワードを入力する必要があります。ドライブパスワードを入力するよう、メッセージが表示されます。

続行するには、パスワード（8 文字以内）を入力し、<Enter> を押します。

2 分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

入力したパスワードが間違っていると、パスワードが無効であることを知らせます。<Enter> を押して、再度試みます。

パスワードが 3 回以内に正しく入力されないと、セットアップユーティリティの **Boot First Device**（最初の起動デバイス）オプションで別のデバイスから起動できるように設定されている場合、別のデバイスから起動が試みられます。**Boot First Device** オプションで別のデバイスから起動するように設定されていない場合は、コンピュータの電源を入れたときの動作状態に戻ります。

ハードドライブパスワード、外付けハードドライブパスワード、およびプライマリパスワードが同じ場合、プロンプトでプライマリパスワードの入力だけが求められます。ハードドライブパスワードがプライマリパスワードと異なる場合、プロンプトで両方のパスワードの入力が求められます。2 つのパスワードを別々に設定することで、セキュリティをさらに強化することができます。

メモ： システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。このソフトウェアはオプションで、Dell™ コンピュータの注文時に購入するか、このセキュリティ機能に関して、デルの営業担当者にお問い合わせください。

メモ： コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。

メモ： お使いのコンピュータにコンピュータ追跡ソフトウェアが備わっていて、コンピュータが紛失または盗難に遭った場合、追跡サービスを提供している会社にコンピュータの紛失を届け出てください。

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合

- 警察等の公的機関に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、応対した担当者の名前も尋ねておきます。

メモ： コンピュータを紛失した場所または盗難された場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

[目次に戻る]

セットアップユーティリティ

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

概要

メモ: セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。**External Hot Key**オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効、または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターを参照してください（「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照）。

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- コンピュータのパスワードなど、ユーザーが選択可能な機能を設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

注意： 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

セットアップ画面

メモ: セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

セットアップユーティリティでは、設定の主な項目が左側に表示されます。項目内の設定タイプを表示するには、項目をハイライトして <Enter> を押します。設定タイプをハイライトすると、画面の右側にその設定タイプの値が表示されます。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できない値は、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

通常使用される設定

特定の設定では、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。起動順序をコントロールし、デバイスを有効または無効にするには、**System** 項目にある **Boot Sequence** ページを使用します。

メモ: 起動順序を一回だけ変更するには、「一回きりの起動の実行」を参照してください。

Boot Sequence ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの一般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **CD/DVD/CD-RW drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧の順序を変更するには、デバイスをハイライト表示して、<u> または <d>（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。
5. 起動デバイスの一覧が表示されたら、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter>を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

COM ポートの変更

Onboard Devices 項目にある **Serial Port** を使って、シリアルポートの COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にしたりできます。コンピュータのリソースが空くので、別のデバイスが使用できるようになります。

赤外線センサーの有効化

1. **Onboard Devices** 領域で **FastIR** を確認します。

メモ: シリアルコネクタに割り当てられた COM ポートと異なる COM ポートを選択していることを確認します。

2. <Enter>を押します。
3. 矢印キーを使って、赤外線 COM ポート設定を選択します。
4. <Enter>を押します。
5. 画面の指示に従います。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスを設定および使用するには、赤外線デバイスのマニュアルおよび Windows のヘルプとサポートを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

目次に戻る

ソフトウェアの再インストール

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

ドライバ

ドライバとは?

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、必要なドライバおよびユーティリティが出荷時にすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

注意：オプションの『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されています。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合には、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **システム** とクリックします。
2. **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ**とクリックします。
3. 一覧をスクロールダウンして、デバイスアイコンに感嘆符（[**!**] が付いた黄色の丸）が表示されているかどうか確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意：デルサポートサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータ用に承認されているドライバを提供しています。その他の媒体からドライバをインストールする場合、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **システム** とクリックします。
2. **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ**とクリックします。
3. 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
4. **ドライバ**→ **ドライバのロールバック** とクリックします。

デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、システムの復元を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します（「Microsoft Windows XP システムの復元の使い方」を参照）。

Drivers and Utilities CD の使い方

メモ:『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元を使っても問題が解決されない場合、『Drivers and Utilities CD』(『ResourceCD』とも呼ばれます)を使ってドライバを再インストールします。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

   ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合 、Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面に従って続行します。

3. ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語(利用可能な場合)をクリックします。**Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面が表示されます。

4. **次へ** をクリックします。

   CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

5. CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

   コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

6. 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

7. **インストール**(表示されている場合)をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

   インストール が表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

   ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

手作業によるドライバの再インストール

メモ: 赤外線センサードライバを再インストールする場合は、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから(「赤外線センサーの有効化」を参照)、ドライバのインストールを続行します。

1. 前項で説明したとおり、ドライバファイルをハードドライブに解凍してから、Windows デスクトップの **マイコンピュータ** を右クリックし、**プロパティ**→ **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ** とクリックします。

2. インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします(たとえば、**モデム** または **赤外線デバイス**)。

3. インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

4. **ドライバ**→ **ドライバの更新** とクリックします。

5. **一覧または特定の場所からインストールする(詳細)**→ **次へ** とクリックします。

6. **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

7. 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ**→ **完了** とクリックして、コンピュータを再スタートします。

ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。

1. **スタート**→ **ヘルプとサポート** とクリックします。

2. **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。

3. **ハードウェアに関するトラブルシューティング**→ **コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します**→ **次へ** とクリックします。

オペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft® Windows® XP のシステムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付いていた場合は、この CD を使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用すると、ハードドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合*のみ*、この CD を使用してください。

Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

注意： データファイルの定期的なバックアップを行います。システムの復元は、データファイルの変更を監視したり、データファイルを復元することはできません。

メモ： このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

1. **スタート**→ **ヘルプとサポート** とクリックします。
2. **システムの復元** のタスクをクリックします。
3. 画面の指示に従います。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック（「Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

注意： コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまでは、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール**→ **システムの復元** とクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントを確認して選択できるカレンダーが表示されます。 復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4. 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   日付の中に復元ポイントが 1 つしかない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合、希望の復元ポイントをクリックします。

5. **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6. コンピュータが再起動したら、**OK** クリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

最後のシステムの復元の取り消し

注意： 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまでは、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除しないでください。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール**→ **システムの復元** とクリックします。
2. **以前の復元を取り消す**→ **次へ** とクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **パフォーマンスとメンテナンス**→ **システム**→ **システムの復元** とクリックします。

2. **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

オペレーティングシステム CD の使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます（「Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照）。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合は、「システムの復元」を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻します（「Microsoft Windows XP システムの復元の使い方」を参照）。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell『Drivers and Utilities CD』

メモ: 『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。『Drivers and Utilities CD 』を使って必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータの購入場所、CD の注文の有無によっては、『Drivers and Utilities CD』と『オペレーティングシステム CD』がシステムに付属されていない場合もあります。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意： オプションの『オペレーティングシステム CD』には、Windows XP の再インストール用のオプションが用意されています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2. 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。`Install Windows XP` というメッセージが表示されたら **Exit** をクリックして、コンピュータを再スタートします。

3. DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

目次に戻る

目次に戻る

仕様

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel®Core™ 2 Duo プロセッサ、Intel Core Duo プロセッサ、Intel Core Solo プロセッサ、または Intel Celeron® M プロセッサ
L1 キャッシュ	32 KB（内蔵）
L2 キャッシュ	お使いの Intel Core プロセッサにより最高 4 MB まで（ダイ）、および Celeron M プロセッサでは 1 MB
外付けバスの周波数	533 または 667 MHz

システム情報	
システムチップセット	Intel 945GM または Intel 940GML
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	36 ビット

PC カード	
カードバスコントローラ	O2Micro OZ711EZ1（PC カードおよび 34 mm ExpressCard） （カードバススロット上のアダプタを介して USB ExpressCard をサポート）
PC カードコネクタ	1 個（タイプ I またはタイプ II のカード 1 枚およびアダプタ付き 34 mm ExpressCard 1 枚をサポート） **メモ：** 34 mm ExpressCard を PC カードコネクタに挿入するには、アダプタを使用する必要があります。
サポートするカード	3.3 V および 5 V PC カード 1.5 V ExpressCard（アダプタ付き）
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅（最大）	PCMCIA 16 ビット カードバス 32 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ソケット × 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、1 GB、および 2 GB
メモリのタイプ	533 MHz および 667 MHz DDRII SDRAM
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	945GM チップセットの場合は最大 4 GB、940GML チップセットの場合は最大 2 GB

ポートおよびコネクタ	
シリアル	9 ピンコネクタ — 16550C 互換、 16 バイトバッファコネクタ
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
オーディオ	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
S ビデオ TV 出力	7 ピンのミニ DIN コネクタ（S ビデオおよびコンポジットビデオのコネクタ付きのオプションのアダプタケーブル）
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4
赤外線センサー	IrDA Standard 1.1（Fast IR）および IrDA Standard 1.0（Slow IR）センサー
モデム	RJ-11 サポート

IEEE 1394a	4 ピン シリアルコネクタ
ミニカード	タイプ IIIA ミニカードスロット
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
D/Port	D/Port 拡張ポートレプリケータ用の標準ドッキングコネクタ

通信	
モデム:	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
ネットワークアダプタ	システム基板にある 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵のワイヤレス LAN PCI-e ミニカードをサポート、 Bluetooth® ワイヤレステクノロジをサポート、 PC カード / ExpressCard スロットでのアダプタ付き ExpressCard を介した ワイヤレス WAN をサポート

ビデオ	
ビデオタイプ	Intel GMA 950
データバス	PCI Express
コントローラおよびメモリ	ダイナミック仮想メモリテクノロジ（DVMT）で 1 MB、最高 64 MB（システムメモリ 256 MB の場合）または 128 MB（システムメモリ 512 MB 以上）
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードの NTSC または PAL（Dell™ D/Port 拡張ポートレプリケータのみを使用）

オーディオ	
オーディオタイプ	HDA（ハイ・デフィニッション・オーディオ）
オーディオコントローラ	Sigmatel STAC9200
ステレオ変換	20 ビット（ステレオ DA 変換） 18 ビット（ステレオ AD 変換）
インタフェース:	
内蔵	Azalia/AC'97
外付け	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォンコネクタ / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	8 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	1 W チャネル（8Ω）
ボリュームコントロール	ボリュームコントロールボタンまたはプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリックス TFT）	14.1 インチおよび 15.0 インチ XGA 15.0 インチ SXGA+
Dimension（14 インチモニター）	
縦幅	214.3 mm
横幅	285.7 mm
対角線	357.1 mm
Dimension（15.1 インチモニター）	
縦幅	228.1 mm
横幅	304.1 mm
対角線	381.0 mm
動作角度	0°（閉じた状態）～ 180°
可視角度:	
XGA 水平方向	+/– 40/40°
XGA 垂直方向	+/– 10/30°
SXGA+ 水平方向	+/– 65/65°
SXGA+ 垂直方向	+/– 50/50°
ピクセルピッチ:	

XGA	0.297 mm
SXGA+	0.217 mm
消費電力（背面ライト付きパネル）（標準）：	
XGA	5.0 W (最大)
SXGA+	4.8 W (最大)
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
キー数	87（アメリカ、カナダ）、87（中国）、89（ブラジル）、88（ヨーロッパ）、91（日本語）
キーストローク	2.5 mm ± 0.3 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY/AZERTY/ 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	64.88 mm（センサー感知領域）
縦幅	48.88 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	6 セル「スマート」リチウムイオン（56 WHr）（標準） 6 セル「スマート」リチウムイオン（48 WHr）（メディアベイではオプション） 4 セル「スマート」リチウムイオン（32 WHr）（オプション）
寸法：	
長さ	77.5 mm
縦幅	19.5 mm
横幅	123.4 mm
重量	0.32 kg（6 セル）0.23 kg（4 セル）
電圧	14.8 VDC（4 セル） 11.1 VDC（6 セル）
充電時間（概算）：	
電源が切れている場合	80 %の充電に約 1 時間
動作時間	動作状況により異なり、電力集中状況によっては大幅に削減します。 詳細に関しては、「バッテリーの性能」を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0°～ 40 ℃
保管時	–40° ～ 60°C

AC アダプタ	
入力電圧	100～240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50～60 Hz
出力電流	3.34 A（65 W AC アダプタ） 4.62 A（90 W AC アダプタ）
出力電力	65 W 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法と重量（65 W AC アダプタ）	
縦幅	28.3 mm

横幅	57.8 mm
長さ	137.2 mm
重量(ケーブル含む)	0.36 kg
寸法と重量(90 W AC アダプタ)	
縦幅	34.2 mm
横幅	60.9 mm
長さ	153.42 mm
重量(ケーブル含む)	0.46 kg
温度範囲:	
動作時	0°～ 40 ℃
保管時	–40° ～ 60°C(–40° ～ 140°F)

サイズと重量	
縦幅	35.8 mm
横幅	338.3 mm
長さ	273.0 mm
重量	約 2.38 kg(14.1 インチ XGA モニター、Dell TravelLite™ モジュール、および 4 セルバッテリーを含む)。重量は、設定および製造上の差異によって変わります。

環境	
温度範囲:	
動作時	0°～ 35 ℃
保管時	–40° ～ 60°C(–40° ～ 140°F)
相対湿度(最大):	
動作時	10～90 %(結露しないこと)
保管時	5～95 %(結露しないこと)
最大振動(ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時):	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃(動作時については、動作ステータスのハードドライブで 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定。保管時については、ヘッド停止位置のハードドライブで 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定)	
動作時	142 G、70 インチ / 秒
保管時	163 G、80 インチ / 秒
高度(最大):	
動作時	–15.2～3,048 m
保管時	–15.2～10,668 m

目次に戻る

目次に戻る

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

左側のリンクをクリックすると、コンピュータの機能や操作方法についての説明がご覧になれます。お使いのコンピュータに含まれるその他のマニュアルに関しては、「情報の検索方法」を参照してください。

メモ: コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意: ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告: 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

略語の一覧表は、「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

目次に戻る

[目次に戻る]

ノートブックコンピュータを携帯するときは

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

コンピュータの所有者の証明

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているか確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。取り付けられている PC カードまたは ExpressCard に接続しているケーブルをすべて取り外し、拡張 PC カードを取り外します（「カードまたはダミーカードの取り外し」を参照）。
- コンピュータをなるべく軽くするため、メディアベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールに取り付けます。
- メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。

注意： ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、シェービングクリーム、コロン、香水、食べ物などと一緒にコンピュータを梱包しないでください。

注意： 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、汚れ、ほこり、液体または直射日光などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

注意： データ損失を防ぐためにオプティカルドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。

注意： コンピュータを荷物として預けないでください。

- 電力の管理オプションを変更して、バッテリー駆動時間を最大にすることを考慮してください（「電力管理の設定」を参照）。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用権を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（ 商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

航空機内での利用

注意： コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X 線探知機に通すか、手検査を依頼してください。

- 手荷物チェックの際にコンピュータの電源を入れるよう指示される場合がありますので、必ず充電されたバッテリーを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

目次に戻る

トラブルシューティング

Dell™ Latitude™ D520 ユーザーズガイド

Dell テクニカル Update Service

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.jp.dell.com / technicalupdate**(英語)にアクセスしてください。

Dell Diagnostics(診断)プログラム

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics(診断)プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、テクニカルサポートに問い合わせる前に、「フリーズおよびソフトウェアの問題」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

注意: Dell Diagnostics(診断)プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

メモ: 『 Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

ハードドライブまたは、オプションの『Drivers and Utilities CD』(『ResourceCD』とも呼ばれます)から Dell Diagnostics(診断)プログラムを起動します。

ハードドライブからの Dell Diagnostics(診断)プログラムの起動

Dell Diagnostics(診断)プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

メモ: コンピュータに画面が表示されない場合は、デルにお問い合わせください(「デルへのお問い合わせ」を参照)。

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. Dell Diagnostics(診断)プログラムは、次のいずれかの方法で起動できます。
   - コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics**(診断)を選択し、<Enter> を押します。

   メモ: ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

   - コンピュータが立ち上がるまで、<Fn> キーを押し続けます。

   メモ: 診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、オプションの『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行してください。

起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- このアセスメント中に、表示される質問に答えます。
- 問題が検出された場合、コンピュータはビープ音を出して停止します。評価を停止してコンピュータを再起動するには、<Esc> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには <r> を押します。
- 起動前システムアセスメントで問題が検出される場合は、そのエラーコードを書き留め、デルまでお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、`Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell 診断ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）というメッセージが表示されます。

5. 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

オプションの Drivers and Utilities CD からの Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動

1. 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やりなおします。

   メモ: 次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3. 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。
4. 表示されるメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
5. 1 を入力してメニューを開始し、<Enter> を押して続行します。
6. 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
7. Diagnostics（診断）プログラム **Main Menu** が表示されたら、実行するテストの種類を選択します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1. Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10～20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に**Express Test** を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

2. テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

   エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（「 デルへのお問い合わせ」を参照）。

   メモ: 各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

3. **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細については、以下の表を参照）。

タブ	機能
結果	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。

	Dell Diagnostics(診断)プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4. 『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行している場合、テストが終了したら CD を取り出します。

5. テストが完了したら、画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics(診断)プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされています。タスクバーのデルサポートアイコン または **スタート** ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーのデルサポートアイコン または **スタート** メニューからアクセスできます。

デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **Dell Support**(デルサポート)→ **Dell Support Settings**(デルサポートの設定) とクリックします。

2. **Show icon on the taskbar**(タスクバーのアイコンを表示する)オプションがチェックされていることを確認します。

メモ: デルサポートユーティリティが **スタート** メニューから利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされます。

タスクバーのデルサポートアイコン は、アイコンをクリック、ダブルクリック、右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンを右クリックします。

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティ設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ(FAQ)の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了

デルサポートアイコンのダブルクリック

アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ(FAQ)の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、デルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細に関しては、 **Dell™ Support**(デルサポート) 画面の上部にある疑問符(**?**)をクリックしてください。

ドライブの問題

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入します(「Diagnostics(診断)チェックリスト」を参照)。

Microsoft® Windows® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピー、CD、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブを確認します —

- 別のフロッピーディスク、CD、または DVD を挿入して、元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします —「コンピュータのクリーニング」を参照してください。

CD ドライブトレイのスピンドルに CD がきちんとはまっていることを確認します

ケーブルの接続をチェックします

ハードウェアの互換性をチェックします —「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性」を参照してください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します —「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

メモ： 高速 CD ドライブまたは DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。

メモ： 世界各国には様々なディスク形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

CD/DVD-RW ドライブに書き込みができない場合

他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD-RW ディスクに書き込む前に、Windows のスタンバイモードをオフにします — 省電力モードの情報に関しては、「スタンバイモード」を参照するか、Windows ヘルプとサポートセンターで**スタンバイ**というキーワードを検索します。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3. トレイが止まるまで、慎重に引き出します。

聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されているか確認します。

ハードドライブの問題

コンピュータを室温に戻してから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1. **スタート**→ **マイコンピュータ** とクリックします。
2. **ローカルディスク C:** を右クリックします。
3. **プロパティ**→ **ツール**→ **チェックする** とクリックします。
4. **不良なセクタをスキャンし回復する**→ **開始** とクリックします。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ： モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

Microsoft Outlook® Express のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルが開けない場合は、次の手順を実行します。

1. Outlook Express で、**ツール**→ **オプション**→ **セキュリティ** とクリックします。
2. **ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話回線の接続を確認します —

電話コネクタを確認します —

モデムを直接電話コネクタへ接続します —

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのコネクタに接続されているか確認します（コネクタは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線コネクタをモデムに差し込んだときにカチッという感触があるか確認します。
- 電話線をモデムから取り外し、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらのデバイスをバイパスし、モデムを直接電話コネクタに差し込みます。3 メートル以内の電話線を使用します。

Modem Helper 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントしてから、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。（Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。）

モデムが Windows と通信しているか確認します —

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **電話とモデムのオプション**→ **モデム** とクリックします。
2. モデムの COM ポート→ **プロパティ**→ **診断**→ **モデムの照会** とクリックして、モデムが Windows と通信していることを確認します。
3. すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットに接続されているか確認します — インターネットプロバイダとの契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、頻繁にポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで Pointing Device オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コマンド名またはファイル名が違います— 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいか確認します。

障害によるキャッシュの無効— マイクロプロセッサに対して内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（「 デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD ドライブコントローラの不具合 —

CD ドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません（「デルサポートユーティリティ」を参照）。

データエラー — ハードドライブでデータを読み取ることができません（「デルサポートユーティリティ」を参照）。

使用可能メモリ減少 — 1 つまたは複数のメモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（「メモリ」を参照）。

ディスク C: の初期化失敗 — ハードドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムのハードドライブテストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ドライブの準備ができていません — 処理を続けるには、ドライブベイにハードドライブを挿入します。ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます（「ハードドライブ」を参照）。

PCMCIA カードの読み取りエラー コンピュータが PC カードまたは ExpressCard を認識できません。カードを取り付けなおすか、別のカードを試してください（「カードの使い方」を参照）。

拡張メモリの容量が変更されています — NVRAM に記録されているメモリ容量が実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。エラーが重ねて表示される場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ファイルが大きすぎてドライブにコピーできません — コピーしようとしているファイルがディスクに対して大きすぎるか、あるいはディスクが一杯です。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません: \ / : * ? " < > — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

Gate A20 エラー — メモリモジュールが緩んでいる可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（「メモリ」を参照）。

一般的エラー — オペレーティングシステムがコマンドを実行できません。通常、このメッセージの後には具体的な情報（たとえば、`Printer out of paper`（プリンタの用紙がありません）が付きます。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0 — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブエラー — ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ハードディスクドライブ読み取りエラー — ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外し（「ハードドライブ」を参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

起動用メディアを挿入してください — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。起動可能 CD を挿入します。

システム情報が間違っています — セットアップユーティリティを実行してください システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティ内の対応するオプションを修正します（「セットアップユーティリティ」を参照）。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics(診断)プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します(「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics(診断)プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します(「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドを使用している場合、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics(診断)プログラムの **Stuck Key** テストを実行します(「Dell Diagnostics(Dell Dianostics(診断)プログラム」)を参照。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します(「メモリ」を参照)。

メモリ割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして(「メモリ」を参照)、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして(「メモリ」を参照)、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして(「メモリ」を参照)、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして(「メモリ」を参照)、必要であれば交換します。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分(パーティション)されているか確認します。

ハードドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください(「デルへのお問い合わせ」を参照)。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics(診断)プログラムの System Set テストを実行します(「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

メモリまたはリソースが不足しています。一部のプログラムを終了して、再試行してください — 開いているプログラムが多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードドライブを再インストールします(「ハードドライブ」を参照)。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(「デルへのお問い合わせ」を参照)。

オプション ROM のチェックサムが違います — オプションの ROM に問題があります。デルにお問い合わせください(「デルへのお問い合わせ」を参照)。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 開こうとしているプログラムに必要なファイルが見つかりません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プログラムの追加と削除** とクリックします。
2. 削除するプログラムを選択します。
3. **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックして、画面の指示に従います。
4. インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。手順については、ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。多くのセクターに障害がある場合データをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

終了エラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

内部時計の電力低下 — システム構成設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。メッセージが再表示される場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

内部時計動作停止 — システム設定をサポートする予備バッテリーが切れた可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

時間が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date** および **Time** オプションの設定を修正します（「セットアップユーティリティ」を参照）。

タイマーチップカウンタ 2 エラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

保護モードで不正割り込みが発生 — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Memory テストおよび Keyboard Controller テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

x:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ディスクをドライブに挿入してもう一度アクセスしてください。

警告：バッテリーが極めて低下しています — バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モードをアクティブにするか、コンピュータをシャットダウンします。

IEEE 1394 デバイスの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

スタート→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア** とクリックします。IEEE 1394デバイスが一覧に表示されている場合、Windowsはデバイスを認識しています。

IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デル製のデバイスである場合は、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照。デバイスが別の製造元から提供されている場合は、その製造元にお問い合わせください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

キーボードの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

さまざまなチェックを実行しながら Diagnostics（診断）チェックリストに記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

メモ： Dell Diagnostics（診断）プログラムまたはセットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

外付けキーボードの問題

メモ： 外付けキーボードを接続した場合、内蔵キーボードはそのまますべての機能を使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンして、1 分待ってから再度電源を入れます。
2. 起動ルーチン中にキーボード上の NumLock、CapsLock、および Scroll Lock ライトの点滅状態を確認します。
3. Windows デスクトップから、**スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **メモ帳** とクリックします。
4. 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. 外付けキーボードを取り外します
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップから、**スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **メモ帳** とクリックします。
5. 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

   内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

キーボードの診断テストを実行します — Dell Diagnostics（診断）プログラムの PC-AT Compatible Keyboards テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。テストの結果、外付けキーボードに欠陥があると分かった場合は、デルにお問い合わせください（「 デルへのお問い合わせ」を参照）。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします— 文字の代わりに数字が表示される場合は、<Num Lk> を押してテンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない場合

AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの反応が停止した場合

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押し続けます。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答を停止するかクラッシュを繰り返す

メモ: 通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムを終了します —

1. <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
2. **タスクマネージャ** をクリックします。
3. **アプリケーション** をクリックします。
4. 応答しなくなったプログラムをクリックします。
5. **タスクの終了** をクリックします。

ソフトウェアのマニュアルを確認します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します — Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1. **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **プログラム互換性ウィザード**→ **次へ** とクリックします。
2. 画面の指示に従います。

画面が青色（ブルースクリーン）になった場合

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8～10 秒以上押し続けます。次に、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについては、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせてください —

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応しているか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

アンチウイルスプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、[スタート]メニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、頻繁にポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します — 「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。

メモリの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

 警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します（「メモリ」を参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

その他のメモリの問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを取り付けなおして（「メモリ」を参照）、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ネットワークの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入してください。

 警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

一般的注意事項

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルが、コンピュータ背面のネットワークコネクタとネットワークコネクタの両方にしっかりと挿入されているか確認します。

ネットワークコネクタにあるネットワークライトを確認します — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、ネットワークにログインしなおしてみます

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークの設定が正しいか、またネットワークが正常に機能しているか確認します。

モバイルブロードバンドネットワーク

メモ： Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのユーザーズガイドは、ヘルプとサポートにあります。また、**support.jp.dell.com** からダウンロードすることもできます。

メモ： コンピュータに Dell モバイルブロードバンドカードが取り付けられている場合は、通知領域に アイコンが表示されます。ユーティリティを始動するには、このアイコンをダブルクリックします。

接続できません — 接続するには、Dell モバイルブロードバンドカードがネットワーク上でアクティブであることが必要です。通知領域の アイコンにマウスのカーソルを合わせて、接続ステータスを確認します。モバイルブロードバンドカードが有効でないと示された場合は、「モバイルブロードバンドカードを有効にします」で詳細を参照してください。問題が解決されない場合は、モバイルブロードバンドサービスキャリアにお問い合わせになり、お使いのプランの詳細を確認してください。

モバイルブロードバンドネットワークサービスを確認します — モバイルブロードバンドのサービスキャリアにお問い合わせになり、プランの適用範囲とサポートされているサービスを確認してください。

Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティのステータスを確認します — タスクバーの アイコンをクリックして、ユーティリティを始動します。メインウィンドウでステータスを確認します。

- No card detected（カードを検出できませんでした） – コンピュータを再スタートして、もう一度ユーティリティを始動してください。

メモ： ワイヤレスネットワークに接続できない場合は、ワイヤレス LAN を設定するためのすべてのコンポーネント（「ワイヤレス LAN 接続に必要なもの」を参照）が揃っていることを確認し、<Fn><F2> を押してお使いのワイヤレスネットワークカードが有効であることを確認します。

コンピュータのワイヤレスネットワーク機能の有効と無効を切り替えるには、<Fn><F2> のキーの組み合わせを使用します。ワイヤレスネットワーク機能が有効である場合に、<Fn><F2> を押すと機能が無効になります。ワイヤレスネットワーク機能が無効である場合に、<Fn><F2> を押すと機能が有効になります。

- Wireless Disabled（ワイヤレスが無効です） – <Fn><F2> を押すか、 アイコンを右クリックして、ワイヤレスネットワーク ExpressCard が有効であることを確認します。
- Searching（検索中） – Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティは、モバイルブロードバンドネットワークを検索しています。検索状態が続く場合は、信号強度が適切かどうか確認してください。
- No service（サービスが見つかりません） – Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティはモバイルブロードバンドネットワークを検知できませんでした。信号の強さが十分であることを確認してください。Dell ワイヤレスユーティリティを再スタートするか、モバイルブロードバンドネットワークプロバイダにお問い合わせください。
- Check your WWAN service（WWAN サービスを確認してください） – モバイルブロードバンドネットワークサービスプロバイダにお問い合わせになり、プランの適用範囲とサポートされているサービスを確認します。

モバイルブロードバンドカードを有効にします — インターネットに接続する前に、お使いのセルラーサービスプロバイダを介してモバイルブロードバンドサービスを有効にする必要があります。Dell モバイルブロードバンドカードユーティリティの使い方に関する手順と追加情報は、Windows ヘルプとサポートセンターのユーザーズガイドを参照してください。ヘルプとサポートセンターへのアクセス方法に関しては、「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でもご覧いただけます。また、モバイルブロードバンドカードをコンピュータとは別に購入した場合には、カードに付属の CD にも収録されています。

PC カードまたは ExpressCard の問題

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

カードを確認します — カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。ExpressCard を使用している場合は、カードをカードスロットに挿入する前にアダプタに挿入していることを確認してください。

カードが Windows によって認識されているか確認します — Windows タスクバーの **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入したカードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

デル以外から購入したカードに問題がある場合 — カードの製造元にお問い合わせください。

電源の問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータの電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1. バッテリーを取り付けなおします。
2. AC アダプタを使用して、コンピュータをコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。

メモ： バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を供給できる時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します— バッテリーステータスライトが橙色に点滅または点灯している場合、バッテリーの充電が低下しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

バッテリーの温度を確認します — バッテリーの温度が 0 ℃ 以下の場合、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

電源プロパティを調整します —「電源管理の設定」を参照してください。

メモリモジュールを取り付けなおします — コンピュータの電源ライトが点灯しているのに画面に何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします（「メモリ」を参照）。

コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、65 W または 90 W の AC アダプタで使用するように設計されています。ただし、最適なシステムパフォーマンスを得るには、常に 90 W アダプタを使用してください。

65 W の AC アダプタを含む低電力の AC アダプタを使用すると、WARNING（警告）メッセージが表示されることがあります。

ドッキング電力の考慮

お使いのコンピュータは、Dell D/Port 拡張ポートレプリケータの使用をサポートします。コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、電力の消費が増加するため、バッテリーのみでの通常のコンピュータの動作はできません。コンピュータがドッキングデバイスにドッキングされている場合、AC アダプタがコンピュータに接続されていることを確認します。

コンピュータの電源が入っている状態でのドッキング

コンピュータが動作中に Dell D/Port ドッキングデバイスに接続されている場合、AC アダプタがコンピュータに接続されるまでドッキングデバイスは検出されません。

コンピュータがドッキングされている状態で AC 電源が切れた場合

Dell D/Port ドッキングデバイスに接続されている間にコンピュータの AC 電源が切れた場合、コンピュータはすぐに低パフォーマンスモードに入ります。

プリンタの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 メモ： プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタの電源がオンになっていることを確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

プリンタが Windows によって認識されているか確認します —

1. **スタート→ コントロールパネル→ プリンタとその他のハードウェア→ インストールされているプリンタまたはFAXプリンタを表示する** とクリックします。
2. プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
3. **プロパティ→ ポート** とクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷先のポート** を **LPT1:プリンタポート** に設定します。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ： スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — セットアップおよびトラブルシューティングについては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — お使いのスキャナーにロックタブやボタンがある場合は、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続をチェックします —

- ケーブル接続の詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

Microsoft Windows がスキャナーを認識しているか確認します —

スタート→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **スキャナとカメラ** とクリックします。お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカーの問題

以下を確認しながら、Diagnostics(診断)チェックリストに必要事項を記入します(「Diagnostics(診断)チェックリスト」を参照)。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

内蔵スピーカーから音が出ない場合

Windows で音量を調節します — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

サウンド(オーディオ)ドライバの再インストール — 「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

Windows の音量を調整します — 画面の右下角のスピーカーアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — ヘッドフォンがコンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタに接続されている場合、スピーカーからの音声は自動的に無効になります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

オーディオドライバを再インストールします — 「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行します — 「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照してください。

メモ: MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレイヤーの音量が十分か確認してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します。

Windows の音量を調整します — 画面の右下角のスピーカーアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プリンタとその他のハードウェア**→ **マウス** とクリックします。
2. 設定を調整します。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. マウスを取り外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. Windows デスクトップ で、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

   タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

セットアップユーティリティの設定を確認します — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します（コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します）。セットアップユーティリティの使い方に関しては、「セットアップユーティリティ」を参照してください。

マウスコントローラをテストします — マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの Mouse テストを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

タッチパッドドライバの再インストール — 「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照してください。

ビデオおよびディスプレイの問題

以下を確認しながら、Diagnostics（診断）チェックリストに必要事項を記入します（「Diagnostics（診断）チェックリスト」を参照）。

 警告： 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合

メモ： お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、バッテリー充電残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントに接続します — 電源保護装置、電源タップ、および延長ケーブルを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。

電源のプロパティを調整します — Windows ヘルプとサポートセンターで**スタンバイ**というキーワードを検索します（「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照）。

画面モードを操作します — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、<Fn><F8> を押して画面モードを切り替えます。

画面が見づらい場合

輝度を調整します — <Fn> と上矢印キーまたは下矢印キーを押します。

外付けサブウーハーをコンピュータまたはモニターから遠ざけます — 外付けスピーカーのシステムにサブウーハーが含まれている場合、サブウーハーがコンピュータまたは外付けモニターから 60 cm 以上離れているか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ってみます。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

Windows のディスプレイ設定を調整します —

1. **スタート**→ **コントロールパネル**→ **デスクトップの表示とテーマ** とクリックします。
2. 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
3. **画面の色** および **画面の解像度** で別の設定にしてみます。

Video 診断テストを実行します — エラーメッセージが表示されず、画面の問題があるにもかかわらず画面の一部は表示される場合、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Video** デバイスグループを実行します（「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。その後、デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合は、「エラーメッセージ」を参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します

1. コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
2. コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください（「デルへのお問い合わせ」を参照）。